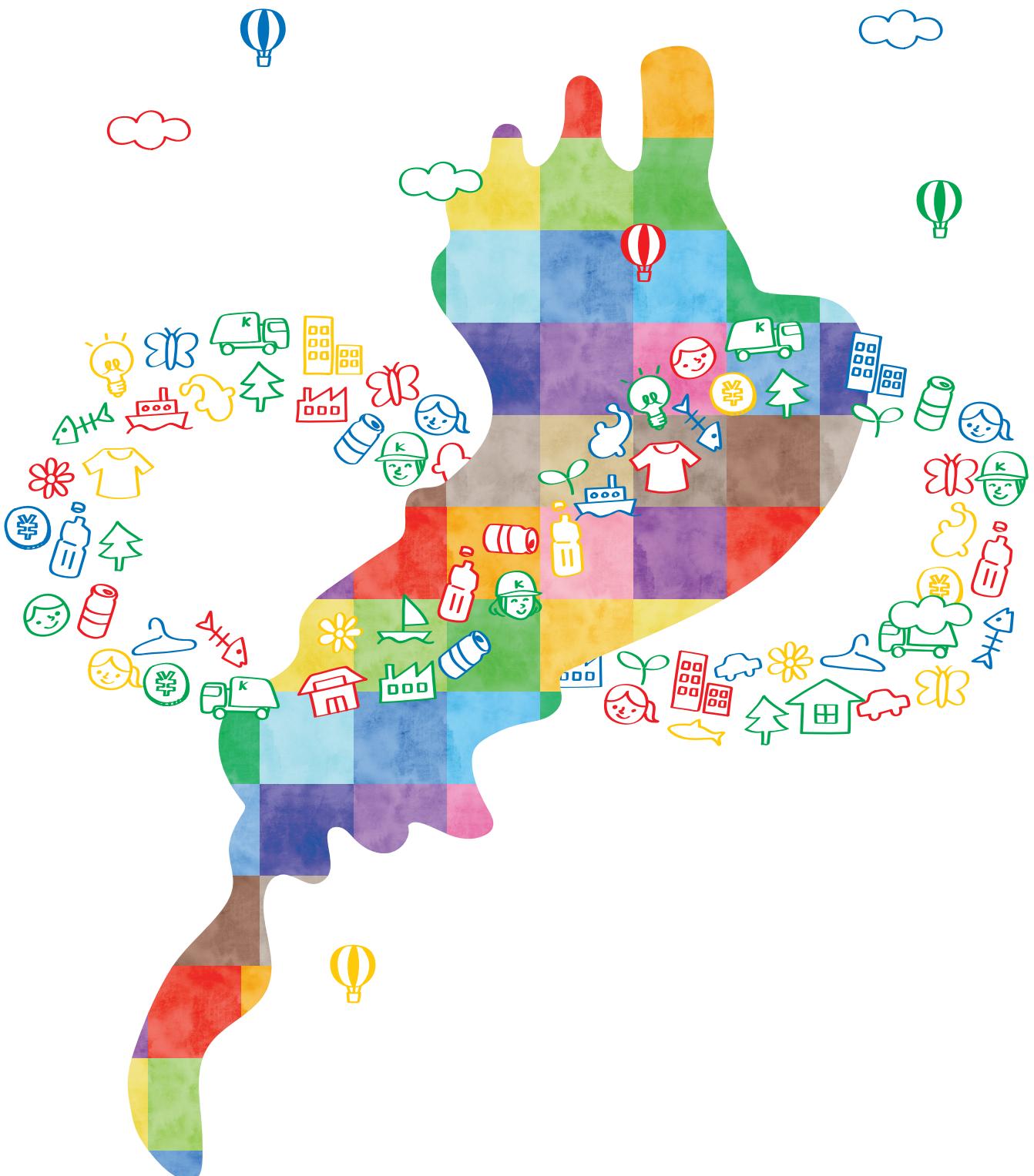


SUSTAINABILITY REPORT 2023



KINKAN GROUP



【目次】

- 2 代表挨拶
- 3 グループ概要
- 3 企業概要
- 5 グリーン経済宣言

-
- 7 KINKAN GROUPのサステナビリティ
 - 11 MATERIALITY① ゼロカーボン社会実現に向けて
 - 13 MATERIALITY② インクルーシブ社会実現に向けて
 - 17 MATERIALITY③ 自然との共生社会実現に向けて
 - 21 MATERIALITY④ 責任ある地域社会の一員として
 - 25 MATERIALITY⑤ 資源循環から循環経済へ
 - 29 MATERIALITY⑥ これからも信頼されるグループへ
 - 33 GRI対照表
 - 35 専門家評価

-
- 37 許可一覧
 - 39 許可車両・回収容器一覧
 - 41 処理フロー
 - 43 サービス紹介
 - 49 近畿環境保全(株) 環境事業部 物流課
 - 51 近畿環境保全(株) リユース事業部
 - 52 (有)ラゴ
 - 53 草津資源循環センター
 - 54 ボトルtoボトルプロジェクト
 - 54 滋賀第一バイオガス発電所
 - 55 (株)湖南リサイクルセンター
 - 59 キンカンビジネスアソシエイツ(株)

-
- 61 卷末データ
 - 64 問合せ先一覧

【報告対象期間】

2022年5月1日～2023年4月30日

※対象ページ: 7～35ページ

※法人の決算時期によって前後する場合あり

【報告対象組織】

近畿環境保全株式会社／株式会社湖南リサイクルセンター
有限会社ラゴ／キンカンビジネスアソシエイツ株式会社

【発行時期】

2023年10月(次回発行予定:2024年10月)

【参考ガイドライン】

GRI Standards／SDG Compass

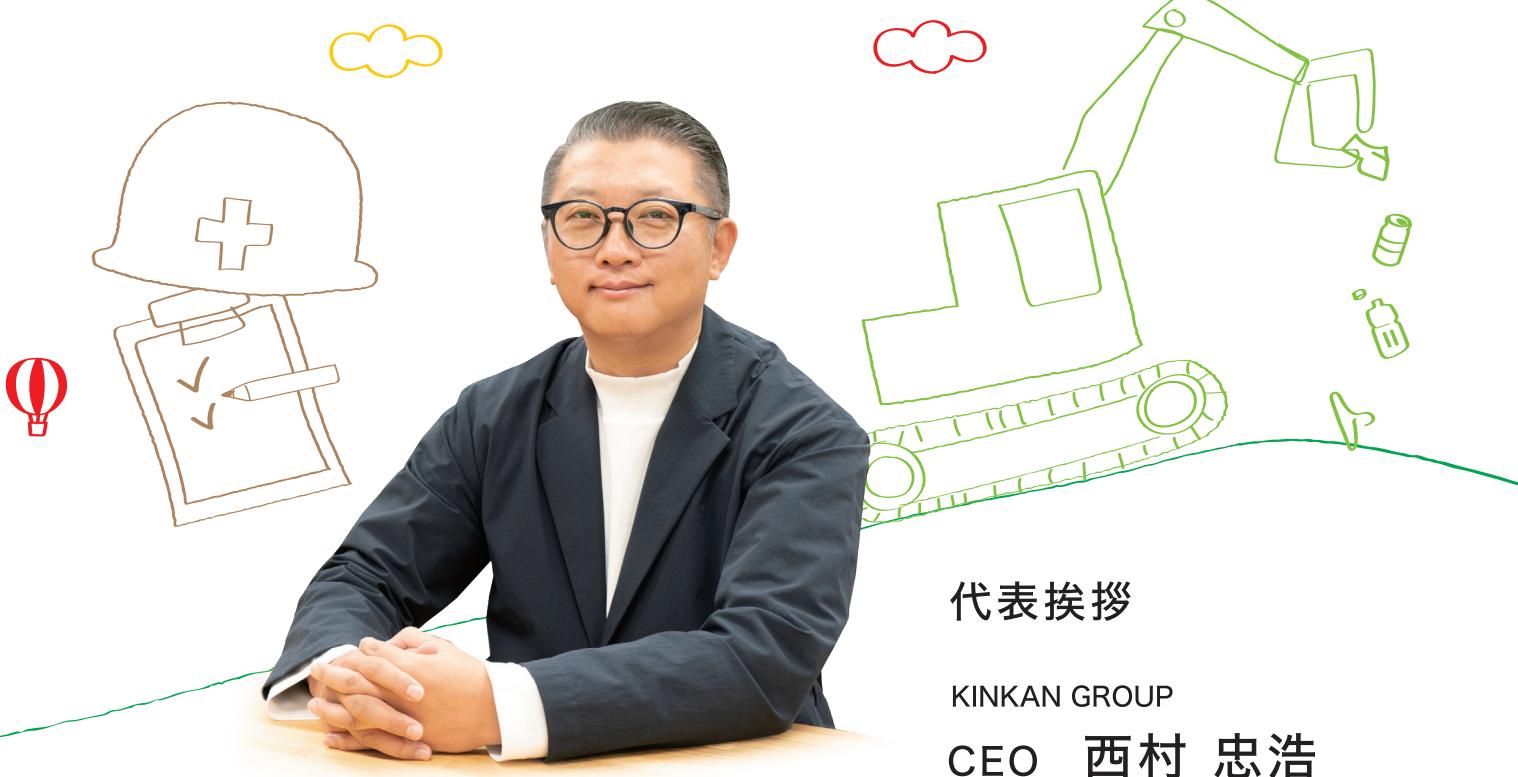
【サステナビリティレポート お問い合わせ窓口】

近畿環境保全株式会社 管理部総務グループ

〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B

Email: secretary@kin-kan.co.jp

SUSTAINABILITY



代表挨拶

KINKAN GROUP

CEO 西村 忠浩

本年もこの「サステナビリティレポート2023」を発刊することができました。多くの皆様にご協力頂いたことは感謝の念に堪えません。たくさんの方に届けることが出来ればと思います。

さて、18年ぶりのリーグ優勝に沸く阪神タイガース、またオリックスバファローズも共に優勝という年になり、関西の経済が盛り上がりを見せている2023年。また2025年には大阪・関西万博も控えており、更なる私たちの事業エリアで経済発展に期待している所であります。

そして、今年はスポーツ界のニュースも多く、WBCでの大谷翔平選手はじめ日本人選手の活躍や、ラグビー・バスケットボールなどワールドカップの開催イヤーでもありました。私たちもスポーツの力は国や地域を盛り上げができると信じており、地域社会との共生のひとつであると捉えております。またスポーツを通じて、健康な生活を送ることが自分自身の為でもあり、企業としても社員の健康がすべての始まりだと認識し、その環境づくりに力を入れていきたいと考えています。

昨年からサステナビリティレポートとして生まれ変わりましたが、1年目のレポートでは私たちの現状を把握

するためにも、スタート地点としての「イチ」ではなく、あえて「ゼロ」という地点からの報告とさせて頂きました。そういう意味でも今回からが本当の1年目として捉え、私たちが目標とすることは何なのか、事業を通して成しえないといけない事は何なのか、を社内で考える機会となりました。

創業60周年で発信した「グリーン経済宣言」では、「すべてのモノは必要とされている。すべてのヒトが必要とされている。」という宣言から始まります。私たちグループがコロナ禍を経験し、改めて人々の生活を守るエッセンシャルワーカーであることを自覚し、住み暮らす地域から循環経済(サーキュラーエコノミー)への転換を目指し、すべての人が取り残されることのないインクルーシブ社会を構築していく、そんな未来を描く循環創造企業でありたいと覚悟をもって取り組む所存です。

2030年のSDGsのゴールをひとつの目標に、そして2050年のゼロカーボン社会に向けて、私たちKINKAN GROUPが取り組むべき事業活動・社会活動をこれからも選択し、常に成長し続ける企業となることをお約束し、本レポートのご挨拶と代えさせて頂きます。

KINKAN GROUPについて

廃棄物の収集運搬、処理を手がける『近畿環境保全株式会社』を中心とし、県下最大級の処理能力をもつ中間処理工場の『株式会社湖南リサイクルセンター』、京都市事業系一般廃棄物許可を有する『有限会社ラゴ』、グループの雇用や福利厚生サービスなどを幅広く展開する『キンカンビジネスアソシエイツ株式会社』の4社体制で事業展開をしています。

【経営方針】

当グループでは、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、ステークホルダーの皆様へより良いサービスの提供を目指しています。そのため、労働環境の改善や福祉への取り組みを推進し、安心して楽しく働ける職場づくりに努めています。

また、当グループでは、社会貢献および教育活動に力を入れています。廃棄物処理のプロとして、地域社会のプロとして、地域社会と次世代へ良い影響をもたらすことができるよう、キンカングループだからこそできる取り組みを行っています。

【経営理念】

当グループは、資源リサイクルと廃棄物の収集運搬及び中間処理を三本柱とし、適正に再資源化処理を行い、循環型社会の構築に努めます。人と地球に「E-Communication Partner」というキーワードを基に、お互いがパートナーシップを築き、未来への可能性を広げて、私たちの地域社会や自然環境を愛する活動の実現と、自然との共生を目指します。



環境を最優先に
物事を運びます。



感動がないと
人は動きません。



改革なくして
発展はありません。



近畿環境保全株式会社



会社概要

会社名	近畿環境保全株式会社
代表者	代表取締役社長 西村 忠浩
資本金	1,600万円
売上高	99,974万円(2023年4月決算)
従業員数	59名(2023年4月時点)
所在地	本社及び草津資源循環センター／滋賀県草津市青地町196番地 グループ管理本部／滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B 営業本部／滋賀県草津市大路2丁目13番27号 迂第3ビル5F 石部営業所／滋賀県湖南市石部口2丁目277番1号 京都営業所／京都府京都市南区上鳥羽南鉢立町14番地2 リユース事業部／京都府京都市南区上鳥羽角田町55番地3

沿革

1962年	前代表の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を開始
1975年	近畿環境保全株式会社設立
1981年	本店を現在の草津市青地町へ移転
1994年	滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得 破碎機と焼却炉で事業を開始
1998年	中間処理業の許可に品目を追加(廃プラスチックと感染性廃棄物の焼却)
2002年	石部町(現:湖南市)に近畿環境保全株式会社を竣工 2003年より本格的に事業開始
2005年	京都市における一般廃棄物収集運搬会社を分社し、㈲ラゴを設立 石部リサイクルセンターを別法人「㈲湖南リサイクルセンター」へ
2009年	西村忠浩が近畿環境保全株式会社の代表取締役社長に就任 西村裕司が近畿環境保全株式会社の代表取締役会長に就任
2013年	食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工
2016年	近畿環境保全株式会社が産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2021年	営業本部を草津市大路へ移転 グループ管理本部を草津市野村へ移転 京都営業所を京都市南区上鳥羽南鉢立町へ移転
2022年	創業60周年を迎える
2023年	リユース事業部を京都市南区に新築

CSR活動のあゆみ

2005年	ISO14001認証取得
2006年	廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
2007年	小学校における環境学習の開始 びわ湖環境ビジネスメッセ参加開始※2020年度より休止
2008年	社内環境ポイント制度開始 カーボンオフセット開始(内モンゴルにて植林)※2017年度終了

2009年 環境報告書の第一号を発行
琵琶湖森林づくりパートナー協定締結※2022年度終了
愛する地球のために約束する協定締結
滋賀グリーン購入ネットワーク入会

2010年 ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加
循環型社会創造研究所えごらとの協同事業開始
滋賀レイクスターズ スポンサー活動開始

2011年 いしへ共働作業所 障がい者雇用開始

2013年 コナン市民共同発電所へ出資

2014年 環境事業部洗車場の屋根に太陽光発電パネル設置

2017年 滋賀ユナイテッドベースボールクラブスポンサー活動開始
草津宿場まつり かごかきレースに参加

2018年 (特非)国際ボランティア学生協会ivusa主催の外来水生植物の除去活動に参加
ヨシ灯り展に参加
プラスチック・スマート登録

2019年 森林づくりパートナー交流イベント開催

2020年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 2年間延長

2021年 しがCO₂ネットゼロムーブメント賛同
マザーレイクゴールズ(MLGs)賛同

2022年 事業継続力強化計画認定 取得

<受賞歴>

1996年 (公社)全国産業廃棄物連合会
地方優良事業所表彰 受賞

2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
第2回しが低炭素リーダー賞 受賞

2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞

2014年 (公社)全国産業廃棄物連合会
青年部協議会 CSR2プロジェクト
コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞

2022年 全国植樹祭にて、「企業の森づくり」感謝状 受賞

株式会社湖南リサイクルセンター



会社概要

会社名 株式会社湖南リサイクルセンター
代表者 代表取締役 西村 忠浩
資本金 1,000万円
売上高 40,666万円(2023年2月決算)
従業員数 19名(2023年2月時点)
所在地 滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号

沿革及びCSR活動のあゆみ

2002年 石部町(現:湖南市)に近畿環境保全株石部リサイクルセンターを竣工
2003年より本格的に事業開始

2005年 近畿環境保全株石部リサイクルセンターを
別法人「株湖南リサイクルセンター」へ

2008年 「株湖南リサイクルセンター」内に竣工
2016年 处理棟へのLED照明の導入

2020年 産業廃棄物処理業の優良認定を取得
2021年 プラスチック・スマート登録
2022年 事業継続力強化計画認定 取得
小学校における環境学習(施設見学)の開始

2023年 琵琶湖森林づくりパートナー協定締結

有限会社ラゴ



会社概要

会社名 有限会社ラゴ
代表者 取締役 西村 美代子
取締役 西村 忠浩
資本金 300万円
売上高 5,216万円(2022年8月決算)
従業員数 2名(2022年8月時点)
所在地 本社／滋賀県草津市青地町196番地
京都営業所／京都府京都市南区上鳥羽南鉢立町14番地2

沿革及びCSR活動のあゆみ

2005年 ㈲ラゴを設立
2021年 京都サンガF.C.スポンサー活動開始(京存共栄パートナー(ACADEMY))
京都営業所を京都市南区上鳥羽南鉢立町へ移転

キンカンビジネスアソシエイツ株式会社



会社概要

会社名 キンカンビジネスアソシエイツ株式会社
代表者 代表取締役 西村 忠浩
資本金 300万円
売上高 9,680万円(2022年5月決算)
従業員数 32名(2022年5月時点)
所在地 滋賀県草津市青地町196番地

沿革及びCSR活動のあゆみ

2018年 キンカンビジネスアソシエイツ(株)設立
2022年 相談支援事業所ばアソ開所
2023年 障害者雇用優良中小事業主(もにす)認定取得

KINKAN GROUP グリーン経済宣言

すべてのモノは必要とされている。

すべてのヒトが必要とされている。

グリーン経済は「廃棄物」がない、すべてが資源として循環する経済です。

キンカングループは滋賀や周辺地域のグリーン経済を支える環境ソリューション企業として、資源の循環がスムーズに行われるよう、資源を必要としている人に確実につないでいきます。

そして、資源のつながり、人のつながり、社会のつながりをより強く、

確実なものとして、持続可能な滋賀経済を支えます。

1. グリーン経済の要となって資源循環を回していきます。

- 世の中に不要なゴミなどない。すべてが資源として活用されるよう、循環させます。
- 既存の資源循環を担うだけでなく、これまで資源化できなかったものを資源化することに努めます。
- 必要な資源が必要な人の手に容易に渡るよう、ITを含め、先進技術を積極的に活用します。
- 古くからあった循環のしくみや知恵を掘り起こし、現代に活かします。
- 「廃棄物」からエネルギーを回収し、再生可能なエネルギーの供給にも取り組みます。

2. 地域の中で循環させます。

- 資源はもちろん、お金もできる限り地域の中で循環させます。
- 地域からの雇用を優先します。
- 地域にあるものは、地域から調達します。
- 資源循環を通じて、地域の困りごとを解消します。

3. 人を育て、人を生かします。

- 私たちは「すべての人は必要とされている」と考えています。誰もが、自分の特性や個性にあった働きがいのある仕事をできるよう、仕事の種類や働き方をカスタマイズします。
- ITを活用するなどして、人は自分の特性が生かせる仕事に専念できるようにします。
- 資源循環のプロフェッショナルを育て、社内ののみならず、地域の課題解決を加速させます。
- 子どもたちが資源循環や環境について学ぶことを支援します。すべてのモノ、そしてすべてのヒトが必要とされていることを伝えます。

4. 美しく、自然の豊かな滋賀を取り戻し、作ります。

- ゴミのない、美しい街・美しい地域を作ります。
- 弱ってしまった自然資源の循環が、再びスムーズに進むようにするため、社内外の仲間と力を合わせます。



KINKAN GROUP グリーン経済宣言と戦略的優先課題の紐付け

2017年にSDGsに賛同し、そこから5年以上の事業活動を積み重ねてきました。その経験と今まで当グループが学んだことを踏まえて、60周年以降の私たちの指針となる「グリーン経済宣言」を発表しました。

私たちは廃棄物を扱う静脈産業だからこそ、全ての人と物に無駄なものは無いと信じています。そして、今年は「循環創造企業」として新たにスタートする1年目となります。地域で必要とされる会社、地域経済を循環させていく事業を今後も展開していくことをここに誓います。

加えて、「グリーン経済宣言」の発表と同時に、当グループが今後成長していくために優先的に取り組むべき課題(戦略的優先課題=マテリアリティ)についても昨年議論し、策定しました。

本頁では、「グリーン経済宣言」の4箇条と、6つの戦略的優先課題がどのように関係しているかを紹介します。

当グループの戦略的優先課題について詳しくは7ページ以降をご覧ください。

▶「1. グリーン経済宣言の要となって資源循環を回していくます。」に関連する戦略的優先課題



ゼロカーボン社会実現に向けて ▶P11～



資源循環から循環経済へ ▶P25～

▶「2. 地域の中で循環させます。」に関連する戦略的優先課題



インクルーシブ社会実現に向けて ▶P13～



責任ある地域社会の一員として ▶P21～



資源循環から循環経済へ ▶P25～

▶「3. 人を育て、人を生かします。」に関連する戦略的優先課題



インクルーシブ社会実現に向けて ▶P13～



責任ある地域社会の一員として ▶P21～



これからも信頼されるグループへ ▶P29～

▶「4. 美しく、自然の豊かな滋賀を取り戻し、作ります。」に関連する戦略的優先課題



自然との共生社会実現に向けて ▶P17～



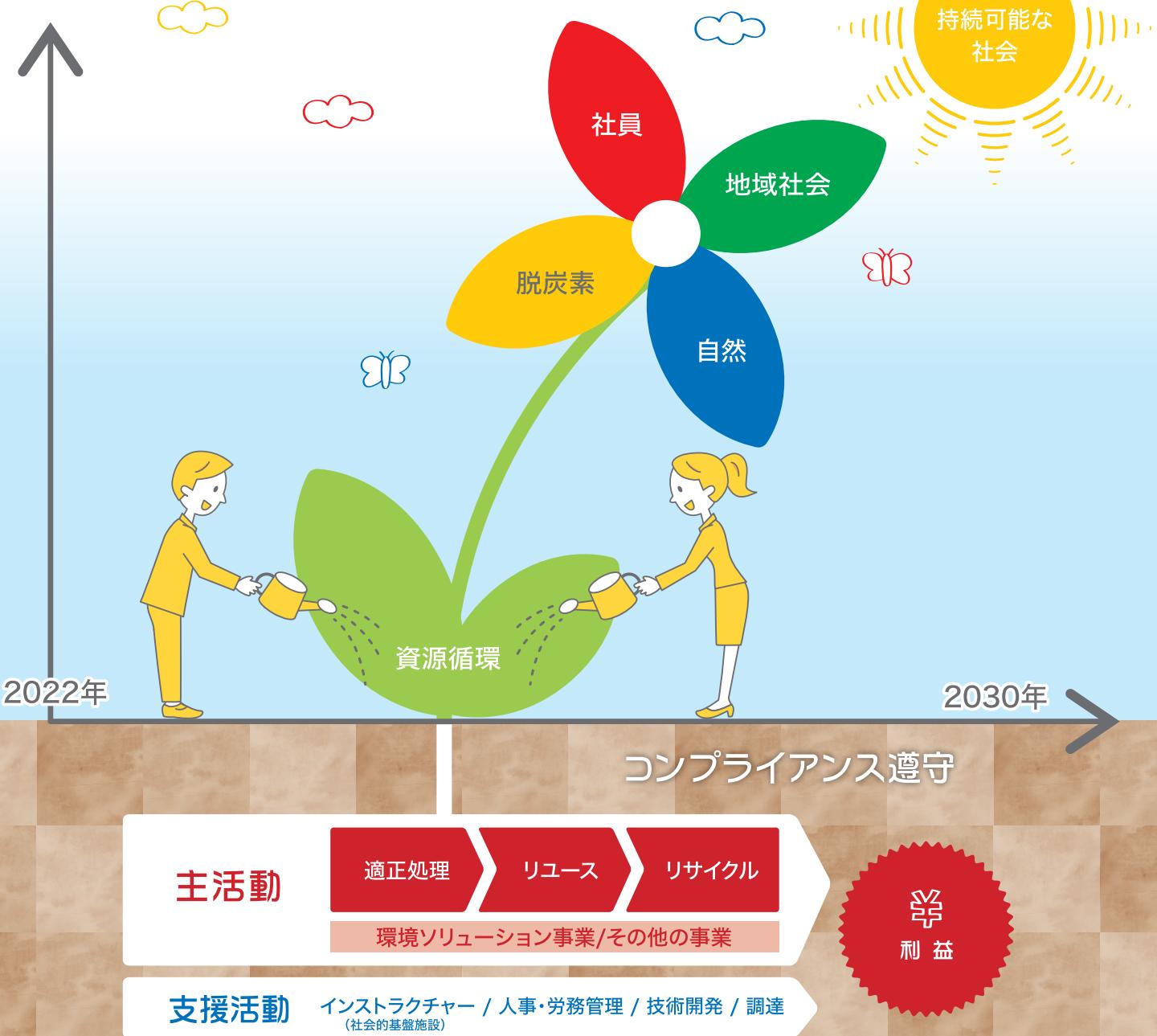
責任ある地域社会の一員として ▶P21～



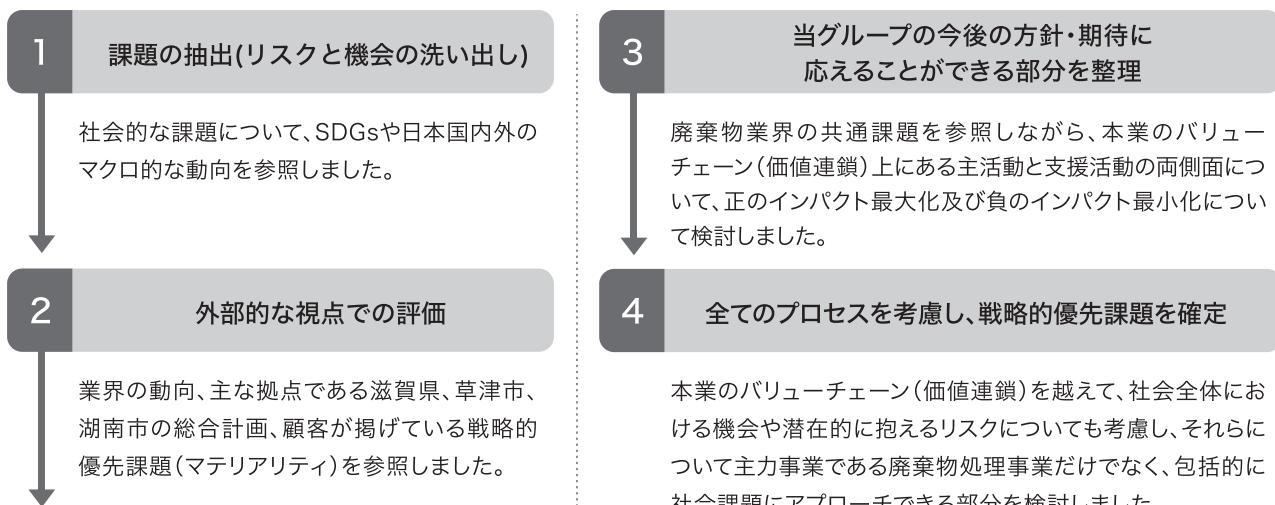
KINKAN GROUPのサステナビリティ①

サステナビリティの位置付けと創造価値モデル

当グループは、事業活動の一部である「資源循環」「コンプライアンス遵守」の2つと、「脱炭素」「ダイバーシティ（社員）」「自然」「地域社会」の4つを戦略的優先課題（マテリアリティ）として設定しました。これらの戦略的優先課題に取り組むことで持続可能な社会を実現し、社会から必要とされる企業になることを目指します。



戦略的優先課題(マテリアリティ)の決定プロセス



主活動において価値を提供する部分

	共通項目	適正処理	リユース	リサイクル
正の影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域雇用の創出／雇用の多様性 ● ダイバーシティ・エクイティ& インクルージョン ● ワークライフバランス ● 社員の成長／公正な人事評価 ● 生態系保全 ● 持続可能な開発教育 ● スポーツ振興 ● グリーン購入 ● 社内デジタルシステムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 確実な収集運搬 ● 処理困難物の適正処理方法及び処理効率の向上 ● スポーツ振興 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物の削減 ● 過剰な生産の抑制 ● 循環型社会の促進 ● 再使用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物からエネルギー回収 ● リサイクル率の向上 ● 再生利用
負の影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 二酸化炭素排出量の削減 ● 省エネルギー推進 ● コンプライアンス遵守 ● リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業中の事故防止 ● 交通事故の抑制 ● 保管物からの出火対応 ● 環境汚染の予防(水質) ● 騒音・振動・悪臭対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業中の事故防止 ● 最終処理先のモニタリング

SDGsへの貢献と戦略的優先課題(マテリアリティ)の関係

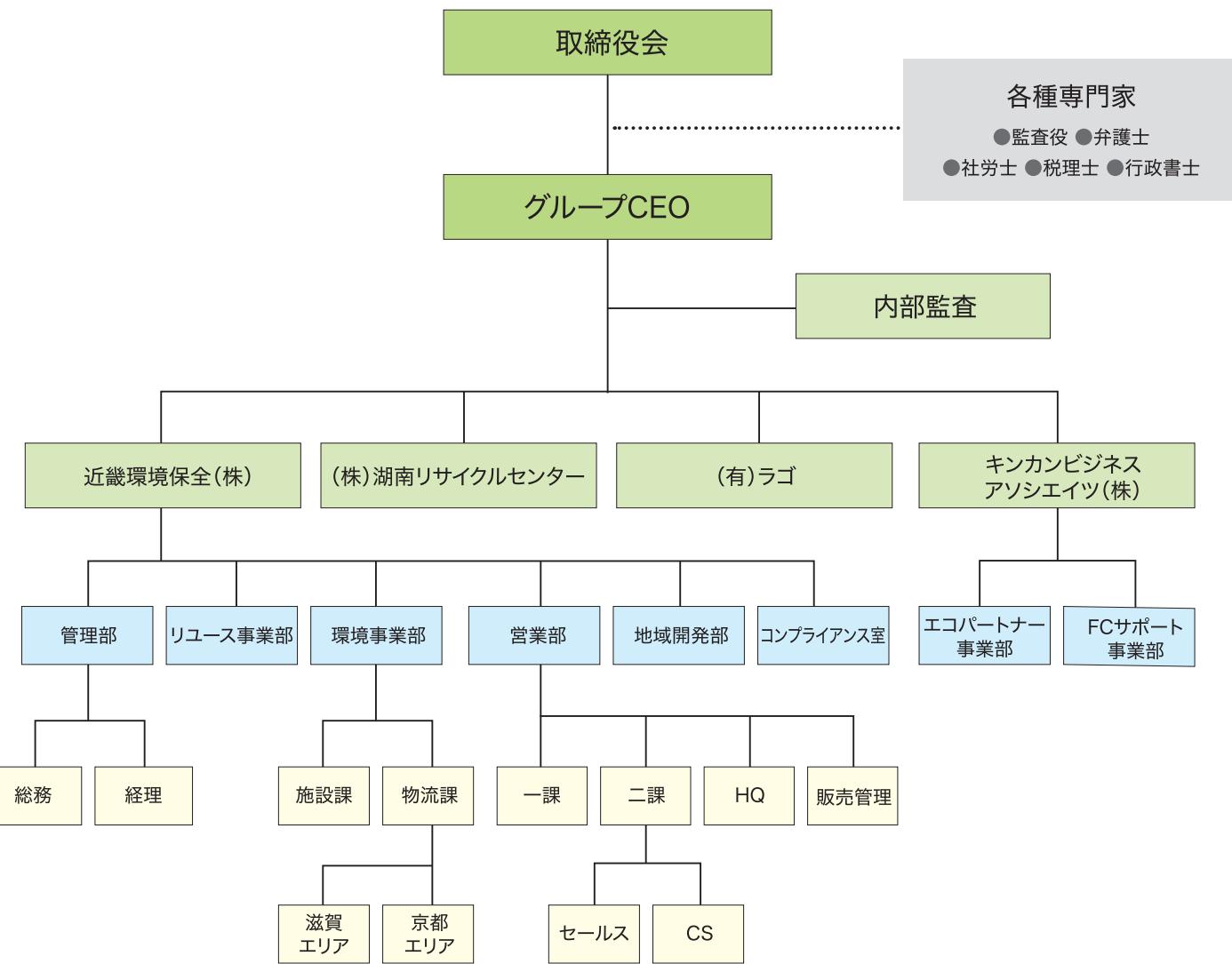
	脱炭素	ダイバーシティ	自然	地域社会	資源循環	コンプライアンス遵守
関連する SDGs						
関連する MLGs						



KINKAN GROUPのサステナビリティ②

推進体制

グループ全体で連携をとりながらサステナビリティの推進を図っています。





■ステークホルダーエンゲージメント

お客様	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動(随时) 営業担当者によるお客様のニーズを把握 ●お客様相談窓口(随时) 電話やメール、問い合わせフォームからの相談に対応 ●自社ホームページ、SNS等(随时) 自社の事業内容や具体的な取り組みについて発信、「産廃情報ネット さんぱいくん」での情報開示
ビジネスパートナー	<ul style="list-style-type: none"> ●セミナー等への参加(随时) 業界団体や取引先が主催・参加するセミナーにおいて、持続可能な取り組みを共有、意見交換 ●パートナーミーティング(随时) 株主・金融機関・外部専門家へ事業ハイライト・財務状況を開示、意見交換
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣住民への事業説明会(随时) 自社事業の理解促進、意見交換 ●普及啓発活動(随时) 各学校へESD教育提供を通じた対話や施設見学の対応 ●地域交流(随时) 地域イベントへの積極的な参加・寄付 ●外部組織との協労(随时) 社会のニーズを把握したうえで、SDGsに資する取り組みについて連携
環境	<ul style="list-style-type: none"> ●業界団体への参加 関連する団体やイニシアチブに参加し、情報収集や意見交換 ●施設見学の実施 施設見学の受け入れにより、環境に配慮した事業運営の理解を促進
社員	<ul style="list-style-type: none"> ●ミーティング(随时) 決算報告や今後の経営方針について全社員に周知、従業員の要望を確認、勉強会等の実施 ●社員総会(年1回) 決算報告や今後の経営方針と事業戦略について全社員に周知、部門間での相互理解を促進

所属している業界団体や会員制団体（順不同）

- (一社)滋賀県産業資源循環協会
- (一社)日本PCB全量廃棄促進協会(JPTA)
- (一社)廃棄物管理業協会
- エコスタッフ・ジャパン(株)
- (一社)滋賀グリーン活動ネットワーク
- (公社)滋賀県環境保全協会
- 湖南・甲賀環境協会
- 京都環境事業協同組合
- 産業廃棄物処理業経営塾OB会
- 滋賀経済同友会
- 草津商工会議所
- 草津ライオンズクラブ
- (公社)草津青年会議所



賛同している目標・マープメント・協定

- SDGs
- MLGs
- イクメンプロジェクト
- しがCO₂ネットゼロマープメント
- 琵琶湖森林づくりパートナー協定
- プラスチック・スマート



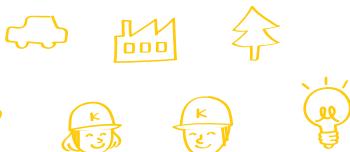
Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

認定を受けている制度

- 各種廃棄物処理業許可
- ISO14001
- 事業継続力強化計画認定
- 令和4年度しが生物多様性取組認証
- 障害者雇用優良中小事業主認定(通称もにす認定)





ゼロカーボン社会実現に向けて



- 2030年までに温室効果ガスの排出量を2021年度比で約30%削減する。
- 2050年までに温室効果ガスの排出量をグループ全体で実質ゼロにする。

当グループは2021年2月に「しがCO₂ネットゼロムーブメント」に賛同し、太陽光発電やBDFプロジェクトを継続することでCO₂の排出抑制に寄与してきました。昨年度はゼロカーボンへ挑戦するための0年度として、報告期間内のエネルギー使用量及びGHG（温室効果ガス）排出量を可視化することをはじめました。今後は2021年度及び2022年度の数値を比較し、2050年のゼロカーボンへの道筋をたてていきます。

しがCO₂ネットゼロムーブメント

2021年2月に「しがCO₂ネットゼロムーブメント」に賛同し、適宜開催されるセミナーへ参加しています。セミナーを利用して滋賀県や県内の企業からの情報を取得し、当グループの各事業所、社員の家庭で実践できる省エネ事例を社内告知しています。



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント

BDFプロジェクト

地域における循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。回収した廃植物油は油藤商事(株)にてバイオディーゼル燃料(BDF)へ精製してもらい、地域のクリーンエネルギーとして利用されています。2022年度は9,800ℓの廃植物油を回収しました。バージン燃料の代わりにBDFを使用することにより、25.48tのCO₂削減に繋げました。



太陽光発電

社内設置太陽光パネル

当グループの洗車場施設に約12kwの太陽光パネルを設置しています。2022年度の発電量は4,885kWhでした。これは、およそ1.54tのCO₂発生抑制に寄与したと算出することができます。



市民共同発電所式号機

2013年に私たちの施設がある湖南市でのプロジェクト「市民共同発電所式号機」に出資しました。2022年度の発電量は112,056kWhで、プロジェクト全体では35.2tのCO₂を発生抑制したと換算することができます。出資者として、地域の再生可能エネルギー事業に協力しながら、地域の活性化への支援になればと考えています。



社員コメント

近畿環境保全(株)
営業部 (HQ)

浅沼 結音

私は普段の業務の中で、CO₂削減について実行できる範囲で行っています。

例えば、通勤時には公共交通機関を利用したり、駅から歩いて会社まで行くことで自家用車の利用を減らしています。また、水筒やタンブラーを持参することによってペットボトルの消費量を減らし、ペットボトルのリサイクルにかかるCO₂排出量の削減に貢献しています。

小さなことでも毎日行うことには意味があると思うのでこれからも続けていこうと思います。





エネルギー使用量

■ 燃料使用量

開示項目	対象	重油			ガス			ガソリン			軽油		
		2021年度	2022年度	単位	2021年度	2022年度	単位	2021年度	2022年度	単位	2021年度	2022年度	単位
非再生可能エネルギー源に由来する 総燃料消費量	キンカングループ	8,924.93	14,399.8	ℓ	22	26.90	m³	6,199	13,249	ℓ	313,327	358,085	ℓ
	近畿環境保全(株)	34	0	ℓ	22	26.90	m³	2,500	12,174	ℓ	261,026	289,158	ℓ
	(株)湖南リサイクルセンター	8,890.93	14,399.8	ℓ	0	0	m³	940	2,466	ℓ	27,087	53,766	ℓ
	(有)ラゴ	0	0	ℓ	0	0	m³	2,759	0	ℓ	25,214	15,112	ℓ
再生可能エネルギー源に由来する総燃料消費量	キンカングループ	0	0	ℓ	0	0	m³	0	0	ℓ	0	0	ℓ
エネルギー原単位(廃棄物処理量あたりのエネルギー使用量)	キンカングループ	0.735	1.103	t/t	0.00181	0.00206	t/t	0.510	1.015	t/t	25.8	27.4	t/t
エネルギー原単位(売上あたりのエネルギー使用量)	キンカングループ	6.04	9.08	t/百万円	0.0149	0.0170	t/百万円	4.20	8.36	t/百万円	212	226	t/百万円
エネルギー総消費量(発熱量ベース)	キンカングループ	12,377	14,523	GJ									

■ 電力使用量

開示項目	対象	電力		
		2021年度	2022年度	単位
電力消費量	キンカングループ	282,045	411,906	kWh
	近畿環境保全(株)	103,240	121,324	kWh
	(株)湖南リサイクルセンター	178,805	287,748	kWh
	(有)ラゴ	0	2,834	kWh
販売した電力	キンカングループ	11,641	4,885	kWh
エネルギー原単位(廃棄物処理量あたりの電力使用量)	キンカングループ	23.2	31.6	kWh/t
エネルギー原単位(売上あたりの電力使用量)	キンカングループ	191	260	kWh/円

●近畿環境保全(株)のエネルギー消費量はキンカンビジネスアソシエイツ(株)のエネルギー消費量を含んでいる。●近畿環境保全(株)の電力使用量は(有)ラゴの電力消費量を含んでいる。●再生可能エネルギー源に由来する総燃料消費量については、キンカングループ内の企業すべてゼロ。●対象「キンカングループ」と記載している項目の数値は、キンカングループ4社合計の数値。●売上は、キンカングループ4社連結の金額である。尚、各社それぞれの決算の金額を採用している。

※GJ=ギガジャール

※ジャールの換算出典:環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」

※2021年度は2021年5月～2022年4月 ※2022年度は2022年5月～2023年4月

二酸化炭素排出量

開示事項	対象	総量		
		2021年度	2022年度	単位
GHG Scope1総量 (①+②) + GHG Scope2(ロケーション基準) 総量	キンカングループ	984	1,196	t-CO ₂
GHG Scope1総量 (①+②) + GHG Scope2(マーケット基準) 総量	キンカングループ	969	1,176	t-CO ₂
①購入した燃料の燃焼に伴うGHG排出量	キンカングループ	847	997	t-CO ₂
内訳	近畿環境保全(株)	679	774	t-CO ₂
	(株)湖南リサイクルセンター	96	183	t-CO ₂
	(有)ラゴ	71	39	t-CO ₂
②非エネルギー起源GHG排出量	キンカングループ	0	0	t-CO ₂

開示事項	対象	ロケーション基準			マーケット基準		
		2021年度	2022年度	単位	2021年度	2022年度	単位
GHG Scope2総量	キンカングループ	137	179	t-CO ₂	122	199	t-CO ₂
	近畿環境保全(株)	50	53	t-CO ₂	45	59	t-CO ₂
	(株)湖南リサイクルセンター	87	125	t-CO ₂	77	139	t-CO ₂
	(有)ラゴ	0	1	t-CO ₂	0	1	t-CO ₂
GHG Scope2 CO ₂ 原単位排出量(廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量)	キンカングループ	0.0810	0.0916	t-CO ₂ /t	0.0798	0.0901	t-CO ₂ /t
GHG Scope2 CO ₂ 原単位排出量(売上あたりの二酸化炭素排出量)	キンカングループ	0.666	0.754	t-CO ₂ /百万円	0.656	0.742	t-CO ₂ /百万円

●GHG(温室効果ガス)プロトコルを使用して算定。●算定範囲は、キンカングループ内のScope1及びScope2の二酸化炭素排出量とする。●対象「キンカングループ」と記載している項目の数値は、キンカングループ4社合計の数値。●近畿環境保全(株)のGHG排出量(Scope2)は、(有)ラゴのGHG排出量(Scope2)を含んでいる。●近畿環境保全(株)のGHG排出量はキンカンビジネスアソシエイツ(株)のGHG排出量を含んでいます。●キンカングループ内の企業は、いずれも非エネルギー起源の二酸化炭素排出量は0t-CO₂。●ロケーション基準及びマーケット基準の数値は切り上げ。●原単位排出量は、全体のみの算出とする。●売上は、キンカングループ4社連結の金額である。尚、各社それぞれの決算の金額を採用している。

※排出係数の出典:環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」 ※2021年度は2021年5月～2022年4月 ※2022年度は2022年5月～2023年4月

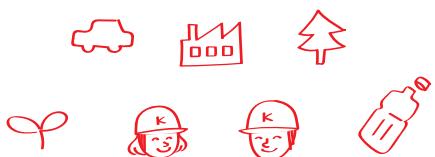
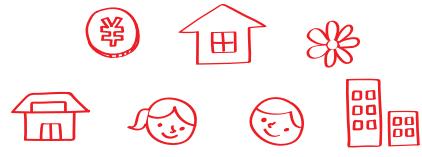
水と排水

対象	取水:水道水		
	2021年度	2022年度	単位
キンカングループ	3,929	3,887	m³
近畿環境保全(株)	2,167	2,445	m³
(株)湖南リサイクルセンター	1,745	1,369	m³
(有)ラゴ	17	73	m³

対象	排水:下水道		
	2021年度	2022年度	単位
キンカングループ	3,929	3,887	m³
近畿環境保全(株)	2,167	2,445	m³
(株)湖南リサイクルセンター	1,745	1,369	m³
(有)ラゴ	17	73	m³

●社屋の都合上、近畿環境保全(株)の数値にはキンカンビジネスアソシエイツ(株)の数値を含む。●対象「キンカングループ」と記載している項目の数値は、キンカングループ4社合計の数値。

※2021年度は2021年5月～2022年4月 ※2022年度は2022年5月～2023年4月

すべての人に
健康と福祉を働きがいも
経済成長も

インクルーシブ社会実現に向けて



- 2030年までにグループ全体で女性管理職の割合を40%とする。
- 2050年までにグループ全体で管理職登用も含め多様な人材が活躍できる職場環境の実現。

成長できる職場づくり

当グループを支える社員一人ひとりのスキルアップがお客様へのより良いサービスに繋がると考え、
社員教育に力を入れています。年数や経験を積むことで成長を感じられる仕組みをつくり、
自分の経験をもとに「知識」と「経験」を「知恵」に変えていけるよう、成長を促していきたいと考えています。
社員それぞれが持っている能力を最大限に発揮し、自信を持って働くことができる環境を目指しています。

資格取得の支援



資格支援制度を設けて、社員のスキルアップを図っています。これは業務に必要な資格を取得する費用を会社が負担する制度です。今年度は延べ15名の社員が制度を利用して資格を取得しました。

資格取得実績

取得年月	取得者名	取得資格名
2022年9月	1名	相談支援従事者初任者研修(相談支援専門員)
2022年9月	2名	PCB従事者講習
2023年1月～2月	11名	ESJセールス検定プロンズクラス
2023年2月	1名	フォークリフト

社内研修の実施



社内研修では、社会人として求められるマナーをはじめ、業務に必要不可欠なことを中心に学んでいます。グループ全体で研修を行うことで、サービスの品質向上を目指しています。

社内研修実績(オンライン含む)

実施年月	参加人数	内 容
2022年5月～	5名	(株)アットリーチェ 営業研修
2022年7月	11名	加山興業(株)によるSDGsワークショップ
2023年4月～	3名	新入社員研修
随時	6名	ISO要求事項及び当社の取組

社外研修の活用



社外研修も積極的に活用しています。2022年度はオンライン研修サービスを導入することにより、研修機会の増加、社内にはない分野を含めた幅広い知識の習得に繋がっています。

業務内容や役職に合わせたプログラムに参加することで更なるスキルアップを目指し、最新のトレンドの考え方を学んでいます。

社外研修実績(オンライン含む)

実施年月日	参加人数	内 容	主催者	研修時間	研修費用
2022年05月	1名	第62回ESJセールス研修会	エコスタッフ・ジャパン(株)	2.5時間	1,500円
2022年07月	3名	産業廃棄物処理業育成研修	(一社)滋賀県産業資源循環協会	4時間	無料
2022年11月～	40名	各種オンライン研修 (四半期に1回受講)	(株)ラーニングエージェンシー	平均5時間	15,675円
2022年11月	1名	産業廃棄物処理業育成研修	(一社)滋賀県産業資源循環協会	4時間	無料
2022年11月	2名	第64回ESJドライバー研修会	エコスタッフ・ジャパン(株)	3.5時間	1,500円
2023年1月	2名	反社会的勢力の排除について	(一社)滋賀県産業資源循環協会	3.5時間	無料
2023年1月	3名	ESJ17周年記念 新年の集い	エコスタッフ・ジャパン(株)	5.5時間	30,000円
2023年2月	1名	第65回ESJ廃掃法研修会	エコスタッフ・ジャパン(株)	4時間	3,000円
2023年4月	2名	古美術勉強会(神栄会)	(株)日興堂	3時間	無料
2023年4月～	3名	5ステップ・トレーニング(全6回)	(株)帝国データバンク	1回4時間 ×6回	99,000円

人事評価制度

当グループでは人事評価クラウドシステムを導入しています。

この評価制度では会社からの数値目標だけではなく、社員それぞれが自ら設定した行動目標の達成を目指します。評価基準を明確にして目標達成度を数値化することで客観的な評価を行い、給与や賞与、昇進を決定しています。

自ら行動目標を設定することにより自覚と責任感が生まれ、職場環境の改善と満足度の向上、売上や利益の増加の指標になります。

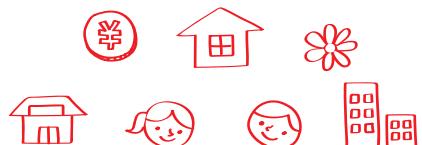
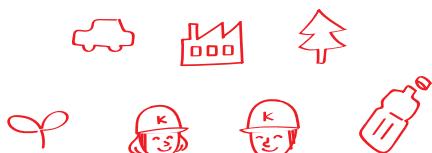
チーム制度の業務

正社員には通常の配属とは別に「チーム制」を設けています。これは社内改革の一環で、一つのことだけに関わるよりも複数の業務に関わったり、出向などを経験することでより多くのスキルが得られると考えているためです。

各部門から選ばれたメンバーを中心に「学ぶ機会」を提供するために設けた制度です。「時間がない、機会がない、わからない」という消極的な意識をチーム制にすることで、どんな仕事も責任のある業務の一環であるという認識を持ってもらうことを狙いとしています。

現在は新卒採用の企画や運営を行う「採用チーム」、60周年を機にCSR報告書からサステナビリティレポートへとバージョンアップした報告書を作成する「キンカンGRIチーム」などが組織されています。

チームで学んだ経験や能力で、将来また違った部署や部門などでも活躍できる人“財”が育つことを期待しています。



インクルーシブ社会実現に向けて

誰もが活躍できる職場づくり

当グループはダイバーシティの実現を目指しています。そのためには国籍、性別、障害の有無などはもちろんのこと、一人ひとりの「違い」を認め合うことが大切だと考えています。誰もが自分の持つ能力を最大限に発揮し、自信を持って働くことができる職場を目指しています。加えて、社員それぞれが安心して働くことができ、家庭やプライベートな時間を大切にしながら活躍できる職場づくりも進めています。

子育て社員の活躍

当グループは仕事と家庭の調和を大切にすることを「基本行動原則」に掲げ、育児をしながら仕事をする社員を応援しています。

男女関係なく育児休業を利用できるように環境を整え、復職後も仕事と家庭を両立できる職場づくりに努めています。

育児休業取得実績

3回取得▶ 1名

2回取得▶ 2名

※2010年5月からの実績です。

障害者雇用枠で働く社員の活躍

2018年にキンカンビジネスアソシエイツ(株)を設立して以来、継続的に障害者雇用を行っています。企業在籍型職場適応援助者や障害者職業生活相談員を配置し、安心して働ける環境を整備しています。

キンカンビジネスアソシエイツ(株)には障害者雇用枠で働く社員が6名在籍し、主に草津資源循環センターと(株)湖南リサイクルセンターで活躍しています。



障害者雇用枠で働く社員の活躍

社員コメント

キンカンビジネスアソシエイツ(株)
エコパートナー事業部

堀井 和明

自分の障害特性上、自らわからないことを質問することが苦手ですが、周囲のサポートもありながら積極的に作業に取り組めているようを感じています。人間関係でも、自分から話しにいくことは苦手意識があるにも関わらず、同僚も気さくに話してくれるため、雑談などもできています。

今後は、今の仕事や今後やっていくであろう業務に役立つ資格の取得やそれに関する知識を蓄えていくと同時に、それを実践できるよう頑張っていきたいです。



シニア社員の活躍

当グループは60歳を定年としていますが、本人の希望があれば再雇用を行っています。再雇用の年齢の上限は設けず、本人の希望と健康状態に配慮して業務内容や勤務時間、出勤日数を調整しています。

現在、60歳の方から76歳の方まで活躍しています。また、業務内容も施設での作業やドライバー、営業など多岐にわたっています。



外国人社員の活躍

当グループには多数の外国人社員が期間社員として所属し、主に(株)湖南リサイクルセンターで活躍しています。

業務マニュアルは社員の母国語に翻訳し、社員全員で業務手順や事故防止対策を共有しています。様々な国籍の社員が協力しながら作業を行っています。



福祉事業所との連携

当グループは就労支援団体と連携し、福祉事業所へ通所している方々が安心して働ける安全な職場を提供しています。週に数回、毎回2~5名の方が当グループの従業員と共に訓練を行っています。

2022年度はしあわせ作業所に加えて、(学)関西福祉学園働き教育センターともご縁があり、就労支援の「場」を提供しています。



福祉事業所との連携

外部コメント

(学)関西福祉学園
働き教育センター
統括センター長

椋梨 純子 様



施設外就労(訓練)に来て、約1年弱になります。現在は、2時間の作業になっていますが、施設外での作業をする中で決められた時間を行うことができれば利用者の自信にも繋がります。また、現場社員さんと同じように作業ができることで緊張感を持つことができるため、訓練の場として最適だと感じています。

今後は、就職先として、また廃棄物について理解することにより、職業面だけでなく生活の質の向上ができると実感しているため、リサイクルの意識を持ってもらうことを期待しています。

しあわせ作業所
所長

町田 貴昭 様



しあわせ作業所内では施設外就労先として一番人気です。いずれ就職したいという声もある中で、企業のスタッフさんと関わりながら作業ができる施設外就労先はキンカングループ以外にないため、利用者の社会経験を積んでいくと同時に企業で働くというイメージが持ちやすい環境であると感じています。

今後は、そのまま就職に繋がる方や就職先を考えるためのひとつのきっかけとして働く楽しみや、やりがいを感じることができる場としながら、貢献していくことができればと思います。

しあわせ作業所
利用者

宮島 宏行 様



キンカングループで施設外就労に来させていただいて7年ほどになり、PETや缶を選別するという業務にやりがいを感じています。他の施設外就労先と比べると作業の内容は一番難しいですが、数年前にラインが導入されたことでやりやすくなり、積極的にキンカングループの施設外就労に参加できています。

今後は、この施設外就労で得た経験を少しでも別の場所で活かすことができるよう頑張っていきたいです。



自然との共生社会実現に向けて



- 2030年までに全社員が琵琶湖システムの推進に関わる活動に参画する。
- 2050年までにグループ内での活動が琵琶湖システムのひとつとなる事業を実現すること。

当グループは滋賀県で活動する地域密着型の企業として、地域と共に発展したいと考えています。その考え方のもと、滋賀県のシンボルであり人々の生活を支えている琵琶湖を守ることをテーマにCSR活動を続けています。また、2021年には「しがCO₂ネットゼロムーブメント」に加えて、琵琶湖版SDGsといわれている「MLGs」への賛同を宣言しました。これからも地域に根ざした活動を通して持続可能な社会の実現を目指していきます。

びわ湖を美しくする運動



毎年7月1日の「びわ湖の日」にちなんで行われる「びわ湖を美しくする運動」に参加し、琵琶湖周辺の清掃活動を行っています。河川から琵琶湖へ流れ着いたり、レジャーのために放置されたごみが散乱している状況がまだ続いている。それらのゴミを拾うことでもマイクロプラスチックの減少や水鳥などの生物環境を整えることにも繋がっています。



■2022年度:2022年7月1日 4名参加 ■2021年度:2021年7月1日 5名参加

社員コメント

近畿環境保全(株)
営業部 営業一課

主任 清水 祐也

2年ぶりの開催となり森林やヨシは大きく成長し、自然の変化を体現した年となりました。

当グループでは、循環型社会を形成するために様々な環境活動に取り組んでいます。そこでは、自然と向き合い触れ合うことで継続の必要性や課題も見えてきます。

地元住民の方やパートナー企業と賛同することでシナジー効果を発揮し、保全活動を活性化させ持続可能な社会の実現を目指していきたいと考えています。

※琵琶湖システムとは

琵琶湖周辺の水田は、琵琶湖の固有種であるニゴロブナなどの湖魚に絶好の繁殖環境を提供してきました。こうした水田やヨシ帯などに向かってくる湖魚の生態を巧みに利用してきた「エリ漁」は、資源にやさしい伝統的な「待ちの漁法」の代表格です。また、河川に遡上する湖魚の産卵環境の保全に寄与する多様な主体による森林保全の営みや琵琶湖の環境に配慮した農業など、森、川、水田、湖のつながりは、世界的に貴重なものです。

このような琵琶湖と共生する農林水産業(琵琶湖システム)は、千年以上に渡って受け継がれてきたもので、2019年2月に「日本農業遺産」に認定され、2022年7月にFAO(国連食糧農業機関)の「世界農業遺産」2019年2月に「日本農業遺産」に認定され、2022年7月にFAO(国連食糧農業機関)の「世界農業遺産」に認定されました。





社員コメント

近畿環境保全(株)
営業部 営業二課CSグループ
森田 剛猛

琵琶湖の豊かな自然を感じながらSDGs実現に向けた福利厚生と、CSR活動の一環として「2022びわこペーロン」に参加しました。

ほとんどのメンバーが初めて体験するペーロンでしたが、全員で一致団結して最後まで湖上を駆け抜けました。

当日は湖畔でのBBQも行われ、自然と触れ合う特別な時間を満喫しました。



ヨシ刈り

2010年より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとしてヨシ刈りに参加しています。

冬に枯れてしまったヨシを刈り取ることにより、ヨシの水質浄化機能の向上とヨシの有効利用を推進しています。刈り取ったヨシはノートの原料や、当社の名刺の原料に使用されています。新型コロナウイルスの影響により中止される年が続いていましたが、2023年2月にヨシ原に帰ってくることができました。

■2022年度:2023年2月25日 8名参加

■2021年度:新型コロナウイルスの影響により中止



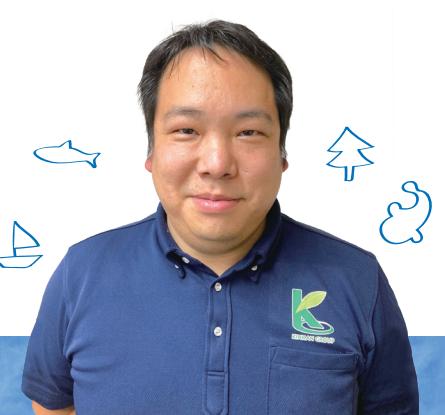
2022びわこペーロン

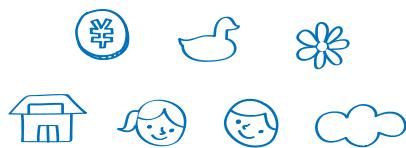
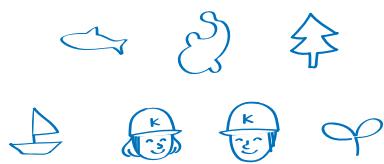
琵琶湖を守る活動だけでなく、琵琶湖に触れる・遊ぶ機会(びわ活)も必要と考え、びわこペーロン大会に初出場しました。本大会は滋賀県大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチにて開催され、全国屈指の有力チームが熱戦を繰り広げる一方で、気軽に琵琶湖を感じることができるレクリエーションとして参加する方も多いイベントです。

琵琶湖と関わる様々な活動「びわ活」を通じて環境保全への意識を高めながら地元愛や社員同士の交流も兼ね備えたレクリエーションとして参加しました。



■2022年度:2022年8月20日15名参加(初出場)





自然との共生社会実現に向けて



琵琶湖森林づくりパートナー協定

2009年より三雲生産森林組合の皆さんと「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結び、琵琶湖の水源である森林保全活動を行っています。森林整備にかかる費用と労働力を提供し、一緒に整備活動を行っています。

下草刈りなどの整備をすることで森林のCO₂吸收機能が向上し、地球温暖化防止の効果も高まります。協定による森林整備の内容は滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書を受領しています。



■2022年度:10月1日 三雲生産森林組合 5名 キンカングループ 11名 ■2021年度:新型コロナウイルスの影響により中止

外部コメント

三雲生産森林組合
組合長

井上 利和 様



「山蒼くして水清し」が三雲生産森林組合の合言葉です。

私たちが住む街は山と川に囲まれています。この豊かな自然と共生しながら暮らしていくためには、縁あふれる山々を守り育てることが大切です。継続的に間伐や間伐材搬出等の費用負担をいただいたらしく、下草刈りの労働力を提供いただけることに、とても感謝しています。

琵琶湖森林づくりパートナー事業所として、これからも地球温暖化防止や国土の保全、水資源の確保のための森林保全活動に、一緒に取り組んでいただけることを期待します。

社員コメント

(株)湖南リサイクルセンター

唐橋 光

森林整備活動に初めて参加し、草刈機の使い方、森林整備の大切さを短い時間でしたが教えていただきました。草刈りでは、初めて草刈機を使用して作業を行い、機械の扱いから丁寧に教えていただき、貴重な体験をすることができました。

森林や里山の管理や保全を疎かにすると、豪雨による土砂崩れなどの災害に繋がるとお聞きしたので、今後もこの地域で働く一人として、積極的に参加し、地域の環境をよくしていくと思いました。



パートナー交流会

自然環境を守り続けるためには自然環境の大切さを会社全体で共有し、環境への関心を高める必要があります。そこで、三雲生産森林組合の皆さんとの交流会を企画しました。イベントを通して自然の中で楽しい時間を過ごしていただくことで自然について考えたり、自然を守りたいと思うきっかけを作りたいと考えています。

■2019年3月9日 第一回交流会

(バーベキュー、椎茸の植菌体験、森林整備)

■2019年10月26日 第二回交流会

(バーベキュー、燻製体験、椎茸の原木の本伏せ、森林探索と炭づくり体験、森林整備)

■2021年3月23日 椎茸収穫

新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。

収穫した椎茸は交流会参加者に配布しました。

■2022年3月28日 椎茸収穫

新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。

収穫した椎茸は交流会参加者を中心に関係者に配布しました。

■2023年3月24日 椎茸収穫

新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。

収穫した椎茸は社員に配布しました。



企業の森 感謝状を受領

2022年6月5日、滋賀県甲賀市 鹿深夢の森にて開催された第72回全国植樹祭にキンカングループCEO 西村が出席しました。祭事中に三雲生産森林組合と近畿環境保全(株)との、琵琶湖森林づくりパートナー協定が10年間続いたことを表彰していただき、「企業の森 感謝状」を受領しました。



令和4年度しが生物多様性取組認証の取得

琵琶湖に関するCSR活動は生物多様性の取り組みにも通じるところがあると感じ、これまでのCSR活動や事業活動を滋賀県に報告した結果、令和4年度しが生物多様性取組認証を取得することができました。

近畿環境保全(株)では星3つ、(株)湖南リサイクルセンターでは星2つという高い評価をいただいています。評価に甘んじることなく、環境保全活動を継続・発展させ、生物多様性についても取り組んでいきます。





責任ある地域社会の一員として



- 2030年までに地域での環境学習を2021年度比で2倍にする。
- 2050年までにステークホルダーと協力して、滋賀県全域での環境学習を実施する。

循環型社会を目指すための情報発信

環境イベントへの出展

情報発信のため、自社セミナーの実施や環境イベントへの出展を行っています。2021年度は新型コロナウイルスの影響を受けて環境イベントへの出展はできませんでしたが、2022年度は2件の展示会へ出展することができました。

どちらも滋賀県草津市での展示会だったため、地元地域の法人、団体や一般の方と情報交換を行い、地域交流を兼ねることもできました。



■2022年9月2日 「草津エコフォーラム2022
～ゼロカーボンシティをめざそう～」



■2022年11月25日、26日 「草津商工会議所創立50周年記念事業 市内企業展」

WEBセミナーの実施

新型コロナウイルスによる活動範囲の制限は緩和されてきましたが、WEBセミナーは2021年度より継続して実施しています。PCB廃棄物を含め、廃棄物の適正処理推進のために各回少人数制で開催し、参加者の皆様の疑問にお答えします。



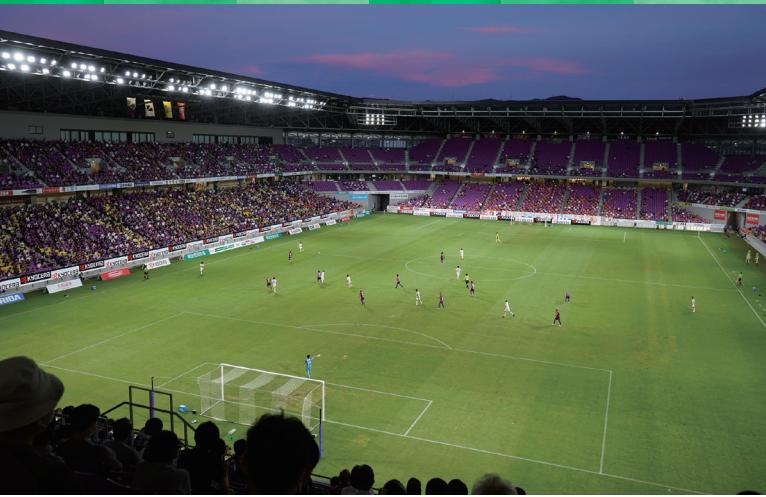
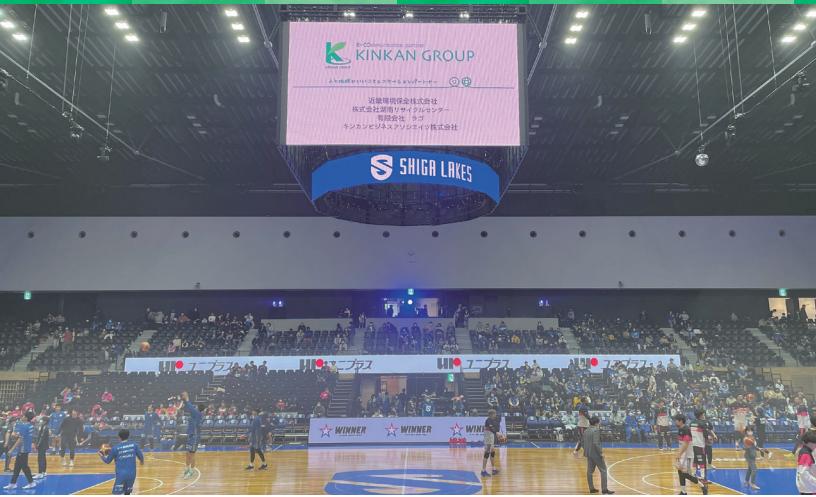
社員コメント

近畿環境保全(株)
営業部 営業二課セールスグループ
岡田 実紗

展示会では当グループが環境を守るために取り組んでいることや、リニューアルした(株)湖南リサイクルセンターのこと、身近なものの廃棄についてどうして分別が大切なかなどを来場者に知っていただけた良い機会になりました。

私は初めて市内企業展に参加しましたがブースに来てくださった来場者や弊社のお客様と直接交流ができて地域のつながりを感じることができました。今後は琵琶湖を取り巻く企業間の横のつながりもより一層強めていきたいと思います。





地元スポーツチームのスポンサー活動

地域密着型の企業として「スポーツを通して地域を盛り上げたい」という想いから、
地元のプロスポーツチームのスポンサー活動を行っています。

スポーツチームスポンサー：活動紹介

滋賀レイクス

2010年よりスポンサー活動を開始しました。



京都サンガF.C.

2021年5月より(有)ラゴがサポートカンパニー(ACADEMY)になりました。



滋賀GOブラックス

2018年よりスポンサー活動を開始しました。
※2023年9月現在は活動休止中。



外部コメント

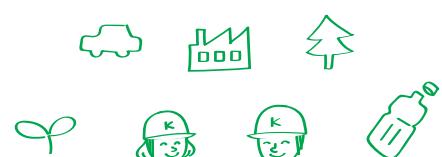
(株)滋賀レイクスターズ
代表取締役社長

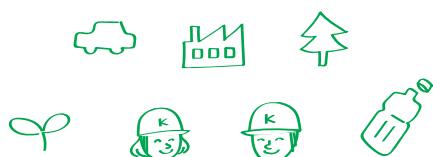


原 豪人 様

滋賀レイクスは、滋賀県をホームとするプロバスケットボールクラブとして、地域の皆様の誇りとなることをミッションに活動しております。クラブ創設初期からサポートを続けてくださる同社との貴重なパートナーシップは、私たちのクラブの活動や地域との更なる結びつきを強める大きな後押しとなっています。

今季はB2からスタートしますが、これまでの感謝を込めて滋賀レイクス史上最もエキサイティングでメモリアルなシーズンを目指してまいります。





責任ある地域社会の一員として

次世代につないでいく教育

持続可能な社会を実現するためには未来の世代に健全な地球環境や資源を残すだけでなく、

環境保全の重要性を後世に伝えていく必要があります。

そこで、「地域社会に根ざす廃棄物処理業者」である当グループならではの体験型学習を通して、

子どもたちがゴミや環境に興味を持つきっかけになる学習の場を提供しています。

昨年度からはキャリア学習の観点から小学生や中学生に向けて「環境に関わるお仕事」を紹介する活動にも取り組んでいます。

出張授業の実施

県内の学校に赴き、環境学習やキャリア学習の授業を行っています。過去12年間で11校の小中学校や養護学校を訪問し、合計21回の出張授業を実施しました。

今年度は大津市立青山中学校にて職業講話を実施しました。社員の業務紹介や営業職を体験するグループワークも交えながら廃棄物処理業について伝えました。



■2022年10月7日 大津市立青山中学校 職業講話

施設見学の対応



環境学習を目的とした施設見学にも対応しています。2022年度は湖南市立石部小学校と草津市立高穂中学校の皆さんに来社され、廃棄物処理の現場や仕事の様子を見学されました。

■2022年10月24日 草津市立高穂中学校職業インタビュー(草津資源循環センターにて)



■2022年6月15日 湖南市立石部小学校環境学習(湖南リサイクルセンターにて)

社員コメント

近畿環境保全(株)
営業部 営業二課CSグループ
岡山 彩里

(株)湖南リサイクルセンターの施設見学では積極的に参加してくれる子どもたちの姿を見て、環境への意識の高さを感じました。

子どもたちから「たくさんのごみを大切な資源に変えてくれてありがとうございます。」という言葉をもらい、私たちが日々取り組んでいることや思いが伝わったと思うと嬉しいです。

この体験が子どもたちにとって良い経験になっていることを願い、これからもより良い環境学習を行えるように取り組んで参りたいと思います。



外部コメント

湖南市立石部小学校
教諭

中瀬 真一様



第4学年の社会科「健康なくらしを守る仕事」において、湖南リサイクルセンターに施設見学のご協力をいただきました。

児童は、初めて見る機械に目を輝かせて、見学することができました。手作業でゴミの分別をしている様子に驚く姿も見られました。分別することでゴミが必要な資源に生まれ変わることを知り、ゴミを減らす取組や分別の工夫を考え、実践したいという思いを持つ機会となりました。大変丁寧に、分かりやすい説明をしていただいたスタッフのみなさま、本当にありがとうございました。

社員コメント

近畿環境保全(株)
採用チーム

遠田 万葵

採用チームとして、2022年2月に開催されたインターンシップに参加しました。インターンシップは全国の学生と出会うためにwebで開催し、関西エリアを中心に広いエリアからご参加いただきました。開催回数を重ねるにつれてSDGsのことを理解し、「なるべく環境に配慮している企業で働きたい」と考えている学生が増えてきています。

当グループに入社されるかどうかに関わらず、自分の過ごす環境やキャリアについて考えるきっかけになつていれば幸いです。



キャリア学習冊子への協賛

小学生がキャリア形成への一歩を踏み出せるように、キャリア学習冊子「お仕事ノート」の作成に協賛しています。お仕事ノートは各市の小学校へ配布され、子どもたちが住んでいる街の仕事について調べたり、自身の将来像を考えための資料として活用されています。

また、地元地域の仕事や魅力が掲載されているお仕事ノートへ協賛することで、滋賀県の地域雇用促進にもつながると考えています。



■2022年11月発行 お仕事ノート草津市版

後援:草津市教育委員会 協賛・掲載企業:近畿環境保全(株) 他



■2022年9月発行 お仕事ノート 湖南市・甲賀市版

後援:湖南市教育委員会 協賛・掲載企業:(株)湖南リサイクルセンター 他

ごみゼロ研究コンクールに協賛

2022年9月に実施された「小学生ごみゼロ研究コンクール@滋賀」は滋賀県内の小学生を対象に、ごみや地球温暖化に関する研究や作品を募集するコンクールです。応募する小学生だけでなく、応募作品を通して我々大人も循環型社会について考えられる企画だと感じて協賛しました。



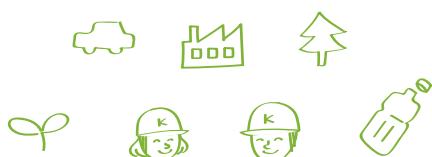
インターンシップの実施

2023年2月8日及び2月9日に冬季webインターンシップを開催しました。

「地域密着型企業とSDGs」をテーマにセミナーやワークショップ、グループディスカッションを実施、2日間で合計11名の学生が参加しました。

学生の皆様が社会に出るにあたり、自分に合ったよりよい将来を選択できるよう、社会の仕組みについて学ぶ機会を提供したいと考えています。





資源循環から循環経済へ ～サーキュラーエコノミー実現に向けて～



- 2030年までにグループで取り扱う廃棄物の再資源化率を60%にする。
- 2050年までにグループで取り扱う廃棄物の最終処分を実質ゼロにする。

私たちは廃棄物の再資源化・リサイクルを推進し、循環型社会の実現を目指しています。

今年度の処理実績を調査し、過去の実績と比較することで、当グループの取り組みについて客観的に分析しました。

再生原料となる廃棄物のリサイクル（草津資源循環センター）

草津資源循環センターでは主に再生原料となる段ボールや缶、ビン、ペットボトル、発泡スチロール等のリサイクルに向けた処理を行っています。2022度は昨年度よりリサイクル量が47.1t増加しました。

2021年6月から取り組みを開始したペットボトルのボトルtoボトルリサイクルの影響を受け、ペットボトルのリサイクル量は毎年増加しています。ボトルtoボトルの詳細については本誌54ページをご覧ください。

再生原料となる廃棄物 リサイクル量		
2020年度 2161.8t (対象期間:2020.5-2021.4)	2021年度 2152.2t (対象期間:2021.5-2022.4)	2022年度 2199.3t (対象期間:2022.5-2023.4)
内 訳		
段ボール …1348.8t	段ボール …1346.4t	段ボール …1352.0t
古紙 (P雑紙、P新聞、シュレッダー、雑誌) …364.3t	古紙 (P雑紙、P新聞、シュレッダー、雑誌) …391.4t	古紙 (P雑紙、P新聞、シュレッダー、雑誌) …358.1t
缶 (アルミ、CP、缶) …166.9t	缶 (アルミ、CP、缶) …104.6t	缶 (アルミ、CP、缶) …91.5t
ビン (その他色ビン、茶色ビン、白色ビン) …92.5t	ビン (その他色ビン、茶色ビン、白色ビン) …88.1t	ビン (その他色ビン、茶色ビン、白色ビン) …108.7t
ペットボトル (PET) …154.8t	ペットボトル (PET) …164.3t	ペットボトル (PET、フレーク) …175.2t
発泡スチロール (PS、PSインゴット) …5t	発泡スチロール (PS、PSインゴット) …12.4t	発泡スチロール (PSインゴット、雑色) …18.2t
キャップ (エコキャップ) …0.5t	キャップ (エコキャップ) …0.5t	キャップ (エコキャップ) …0.8t
金属 (鉄、被覆線) …28.8t	金属 (鉄、被覆線) …44.5t	金属 (鉄、被覆線) …34.5t

外部コメント

豊通ペットリサイクルシステムズ(株)
経営管理部 人事総務グループ

岡村 寿美 様



ペットボトルの資源循環では当社のようなリサイクラーのみならず、KINKAN GROUP様を代表とする回収・中間処理業者様もバリューチェーンの重要な機能を担っていらっしゃいます。結果、ペットボトルは単なる使い捨て容器では無く94%が回収され内98%が有効利用される容器素材の優等生となっています。

私はそのようなKINKAN GROUP様と共にペットボトルの水平リサイクル＝資源循環に貢献していく所存です。





産業廃棄物の再資源化 (湖南リサイクルセンター)

2020年度より処理設備の改善をはじめとした施設リニューアルに取り組み、受け入れ量の拡大と再資源化率の向上を推し進めてきました。結果、全ての数値が上昇し、資源循環への貢献度も高まりました。また、滋賀県の管理型埋立最終処分場が2023年10月末に廃棄物の受入を終了する背景もあり、近隣地域の持ち込み業者や排出事業者の皆様への地域貢献にも繋がったと考えています。

社員コメント

近畿環境保全(株)
環境事業部 施設課

始田 和司

草津資源循環センターでは、キンカンビジネスアソシエイツ(株)やしあわせ作業所の作業員の方々と協力しながら、ペットボトル・缶・ビン・雑紙・段ボールなどの有価物の選別と圧縮処理をしています。彼らの選別は手際が良く、スムーズに有価物の処理が出来るためとても助かっています。

有価物をより高く売れる時期に、より多く搬出していけるよう上司と相談しながら有価物の管理をすることで売り上げに貢献出来ればと思います。

(株)湖南リサイクルセンター搬入重量

2020年度 10,590.3t	→ 2021年度 11,866.3t	→ 2022年度 12,346.8t
(対象期間:2020.3-2021.2)	(対象期間:2021.3-2022.2)	(対象期間:2022.3-2023.2)

産業廃棄物 再資源化率

2020年度 44.5%	→ 2021年度 52.19%	→ 2022年度 56.53%
(対象期間:2020.3-2021.2)	(対象期間:2021.3-2022.2)	(対象期間:2022.3-2023.2)

セメント・RPF向け処理実績

2020年度 1,680t	→ 2021年度 2,025t	→ 2022年度 2,819.5t
(対象期間:2020.3-2021.2)	(対象期間:2021.3-2022.2)	(対象期間:2022.3-2023.2)

木くずの再資源化 (湖南リサイクルセンター)

木くずの再生施設の認定を受ける為、搬入される木くずの90%を再資源化に繋げることが目標です。実績としては、搬入量はやや減少しましたが、搬入された木くず全てを再資源化に繋げることができました。

木くずの再資源化量

2020年度 2,076.1t	→ 2021年度 2,476.2t	→ 2022年度 2,396.4t
(対象期間:2020.3-2021.2)	(対象期間:2021.3-2022.2)	(対象期間:2022.3-2023.2)

木くずの再資源化率

2020年度 100%	→ 2021年度 100%	→ 2022年度 100%
(対象期間:2020.3-2021.2)	(対象期間:2021.3-2022.2)	(対象期間:2022.3-2023.2)



資源循環から循環経済へ ～サーキュラーエコノミー実現に向けて～

環境マネジメントシステム ISO14001 目的・目標の報告

当グループはISO14001の環境マネジメントシステムに取り組んでいます。社会や自然に与えている影響を明確にし、悪い影響を及ぼす問題や改善につながる取り組みに対して、自ら目標を立てて解決していく仕組みを作っています。

目標設定及び評価は拠点ごとに行っており、本頁では拠点ごとに報告しています。

なお、キンカンビジネスアソシエイツ(株)はISO14001の事業範囲に含まれておりません。

■ グループ管理本部

目標項目	目 標	実 績	判 定
グリーン購入率	→ 70%以上	→ 81%	→ CLEAR✓
交通死亡事故件数	→ 0件	→ 0件	→ CLEAR✓
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●琵琶湖森林づくりパートナー活動 ●ヨシで琵琶湖を守るネットワーク ●グリーン購入の推進	→ CLEAR✓
人事評価評点	→ 評点平均65点以上	→ 評点平均55.5点	→

■ 営業本部

目標項目	目 標	実 績	判 定
売上高	→ 1,100,000,000円	→ 1,025,602,992円 (達成率93%)	→
情報発信件数	→ 111件	→ 123件	→ CLEAR✓
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ CLEAR✓
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ CLEAR✓
手順・改善の改定	→ 12件	→ 12件	→ CLEAR✓
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●環境学習の実施 ●琵琶湖森林づくりパートナー活動 ●ヨシで琵琶湖を守るネットワーク ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ CLEAR✓
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ 本社・草津資源循環センター(営業部営業二課CSの数値を含む)

目標項目	目 標	実 績	判 定
有価物リサイクル排出量	→ 2,155,084kg	→ 2,199,638kg (前年対比102.1%)	→ CLEAR✓
廃棄物取扱量	→ 取扱量を記録する	→ 106,230kg	→ CLEAR✓
商談数	→ 150件	→ 167件	→ CLEAR✓
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ CLEAR✓
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ CLEAR✓
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●環境学習の実施 ●ヨシで琵琶湖を守るネットワーク ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ CLEAR✓
さんぱいくん更新	→ 年2回以上の更新	→ 3回更新	→ CLEAR✓

■ 石部営業所

目標項目	目標	実績	判定
エコ車両買い替え	→ 三年間で三台買い替え	→ 前年度からの引き継ぎで6台(参考旧型車両の廃止2台)	→ CLEAR✓
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件(その他物損事故等 20件)	→ CLEAR✓
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件(その他労働災害 0件)	→ CLEAR✓
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●環境学習の実施 ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ CLEAR✓
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ 京都営業所・(有)ラゴ

目標項目	目標	実績	判定
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件(その他物損事故等 7件)	→ CLEAR✓
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件(その他労働災害 0件)	→ CLEAR✓
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ 特になし	→
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ (株)湖南リサイクルセンター

目標項目	目標	実績	判定
総受入量対比総処分費	→ 1kgあたりの処理単価の維持	→ 設定値以下	→ CLEAR✓
有価物排出比率	→ 20%以上	→ 24.78%	→ CLEAR✓
新型破碎機の燃料使用量	→ 年間使用量の把握	→ 29,547ℓ	→ CLEAR✓
処理先開拓	→ 3年間で2件以上	→ 3件	→ CLEAR✓
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件(その他物損事故等 1件)	→ CLEAR✓
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件(その他労働災害 1件)	→ CLEAR✓
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●環境学習の実施 ●障害者雇用 ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ CLEAR✓
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ リユース事業部

目標項目	目標	実績	判定
古物の取扱金額	→ 初年度のため数値の記録	→ 毎月の記録を遂行	→ CLEAR✓
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ CLEAR✓
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●グリーン購入の推進	→ CLEAR✓
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

社員コメント

近畿環境保全(株)
コンプライアンス室

室長 永戸 浩一

当グループを取り巻く働く環境もこの2、3年でさらに変化しました。営業部がJR草津駅徒歩圏内に拠点を移したことから始まり、そこでは電車を利用した通勤体系が確立されました。管理部は草津市青地町の本社から草津市野村の事務所へ移転し、京都ではリユース事業部の立ち上げや、京都営業所の物流業務の集約をしました。石部営業所においても物流業務の強化に取り組み、(株)湖南リサイクルセンターも地域に密着した中間処理施設として独立したブランディングを進めたりと、ISOの適用サイトを見直すきっかけとなる年度になりました。

ISOの登録文書の単位を部署・拠点へ変更し、各部署各拠点ごとに目的目標を設定することにしました。これにより、社内では自身の所属においてどんな目標が設定されているのか解りやすくなつたのではないかと感じています。

今後は環境だけでなく労働安全や道路交通に関わる目標を設定し、より一層社会に優しい取り組みを推進して参りたいと思っております。

サステナビリティレポートを作成したチームに感謝するとともに、本誌を手に取って頂いたステークホルダーの皆様には継続して報告差し上げ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。





これからも信頼されるグループへ ～コンプライアンスの徹底～

【KINKANGROUPとしてコンプライアンスの理解と定義】

- 会社で働く人間が法令違反を起こさないようにすること
- 会社が法令違反を起こさないための仕組みができていること

とし、「社会の要請に応えること」を筆頭に、法令を守るのみならず、ステークホルダーを含めた社会全体からの要請に丁寧に応えていきます。

コンプライアンスへの取り組み

遵守法令

ステークホルダーの皆様に安心して取引をしていただき、事業を継続していくために、当グループが法律と条例を遵守できているかどうか毎年2月ごろに確認しています。

2022年度の確認は2023年3月31日に行い、全ての法律と条例を遵守していると確認できました。2023年度も引き続き方針変更や法改正に対応し、法令条例遵守に務めます。

法律・条例 一覧

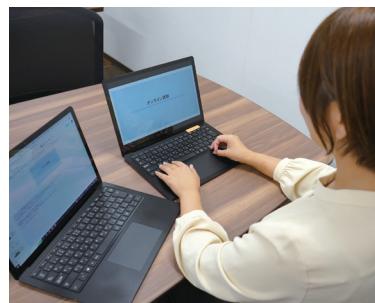
■ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	■ 挥発油等品質確保法
■ 資源有効利用促進法(各種リサイクル法)	■ 計量法
■ 騒音規制法	■ 労働安全衛生法
■ 振動規制法	■ 人権教育及び人権啓発の推進
■ 悪臭防止法	■ 同じく人権に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
■ 水質汚濁防止法	■ 同和対策特別処置法
■ 電気事業法	■ 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
■ 建設業法	■ 男女雇用機会均等法
■ フロン排出抑制法	■ 暴力団等排除条例
■ 消防法	■ 湖南市環境基本条例
■ 凈化槽法	■ 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
■ 道路交通法	■ 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
■ 道路運送車両法	■ 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
■ NOx・PM法	■ 関する条例
■ 高圧ガス保安法	■ 公害防止協定-青地町自治会

以下、全て遵守！

サプライチェーンマネジメント

施設見学

(株)湖南リサイクルセンターをはじめ、廃棄物処理への理解を深めるためお客様自身の目で処理施設をご確認いただけるように、定期的に施設見学の機会を設けています。当グループの施設に限らず、お客様の希望にあわせて最終処分地、協力業者への視察も手配します。



(株)湖南リサイクルセンターでは、より多くのステークホルダーに見学していただくために、2023年3月よりオンライン施設見学を開始しました。遠の方でも気軽に視察していただけるため、今後はコンテンツを充実させ月に1回のペースで開催する方針です。

■実施回数:55回 参加企業:述べ106社 参加人数:述べ162名

処分地の確認



当グループが責任を持ってお預かりした廃棄物が適正に処理・管理されているかどうかを確認するために、定期的に処分地の視察を実施しています。これにより処理の適正さと信頼性の証明が得られた最終処分地・再資源化先のみをお客様にご提案しています。

■訪問施設:9箇所

外部コメント

(株)トクヤマ
資源リサイクル
営業グループ(大阪)

江頭 徹 様



トクヤマグループは、コンプライアンスを法令遵守に限定せず、社内ルールの遵守、社会の要請に応えるための企業倫理に則った良識ある行動の範囲まで含めた広い意味でとらえています。例えば、貴社とも反社会的勢力排除契約書を締結しておりますが、これもお互いの企業安全性を確保するための一環です。これによりステークホルダーからの信頼を得て、それを背景として企業が持続的に発展していくということも意味します。

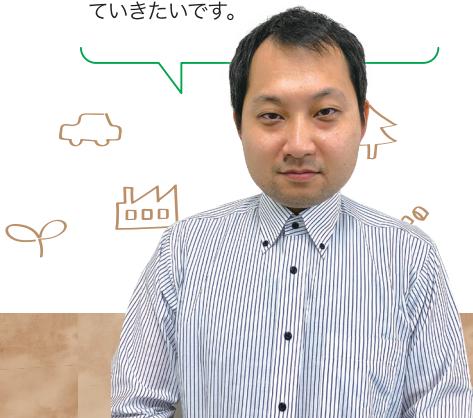
社員コメント

近畿環境保全(株)
環境事業部

宮井 亮太

コンプライアンス遵守に関する項目として、物流事務や(株)湖南リサイクルセンターでのマニフェスト管理業務にあたっています。廃棄物を引き取る際にはマニフェストが必要になるので、作成する際には排出事業者の名前や品目などに不備がないか、引き取り日のマニフェストが準備出来ているかチェックしています。

当グループではJWNETやETマニフェストなどの電子システムを導入しており、その他にも、マニフェスト利用が少ない排出事業者様にも安心してご利用頂ける団体登録加入業務を行っています。今後も法令遵守を徹底し、お客様のお役に立てるよう努めたいです。



各拠点の環境調査

当グループの事業で環境への負担を把握するために、事業を行っている3ヶ所にて廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を実施しています。専門機関に依頼して騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値以下となるよう努力しています。

さらに、当グループは特定施設にはあたりませんが、水質汚濁防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。2022年度の調査は5月17日を行い、基準値を超えずでそれぞれの項目をクリアしています。

なお、以前まで4拠点で実施しておりましたが、京都営業所は測定不要と判断し、今年度の計測対象から外しています。

■近畿環境保全(株)本社及び草津資源循環センター

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	65dB	70dB	12
調査 (場所/No.1)	64dB	35dB	10未満
結果 (場所/No.2)	59dB	39dB	10未満
評価	○	○	○

水質レベル		
計量対象項目	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度	6.8	JIS K0102 12.1
生物化学的酸素要求量	37mg/L	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量	14.3mg/L	JIS K0102 17
浮遊物質量(SS)	16.0mg/L	環境庁告示第59号付表
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	0.5mg/L未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数	48個/cm³	厚生省・建設省令第1号
窒素含有量	1.4mg/L	JIS K0102 45.2
燐含有量	0.1mg/L	JIS K0102 46.3
pH測定時試料温度	20.9°C	JIS K0102 7.2

■近畿環境保全(株)石部営業所

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	70dB	70dB	14
調査 (場所/No.1)	54dB	38dB	10未満
結果 (場所/No.2)	54dB	39dB	10未満
評価	○	○	○

■(株)湖南リサイクルセンター

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	70dB	70dB	敷地境界線14
調査 (場所/No.1)	51dB	36dB	10未満
結果 (場所/No.2)	52dB	38dB	10未満
(場所/No.3)	51dB	35dB	
評価	○	○	○

水質レベル		
計量対象項目	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度	7.0	JIS K0102 12.1
生物化学的酸素要求量	1mg/L	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量	2.11mg/L	JIS K0102 17
浮遊物質量(SS)	2.8mg/L	環境庁告示第59号付表
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	0mg/L未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数	6個/cm³	厚生省・建設省令第1号
窒素含有量	0.5mg/L未満	JIS K0102 45.2
燐含有量	0.1mg/L未満	JIS K0102 46.3
pH測定時試料温度	21.1°C	JIS K0102 7.2



これからも信頼されるグループへ ～コンプライアンスの徹底～

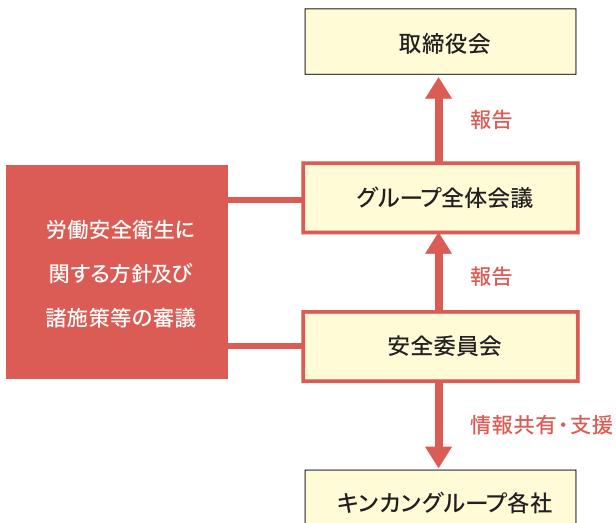
労働安全に対する取り組み

労働安全衛生マネジメント体制

当グループは各事業所が常時50名に満たない人数で構成されています。しかし、労働災害と防災に関する事項の円滑な実施を推進・支援するため、自主的に安全委員会を設けています。

安全委員会は月1回開催され、リスクアセスメントを行い、労働災害や自然災害の予防、事故の報告、検証や再発防止に努めています。重大な影響を与える事故・災害その他緊急事態が発生、または発生するおそれがあると判断した場合、委員会が状況把握や改善の提言・指導に当たるとともに、役員および関係部署へ報告を行っています。

(株)湖南リサイクルセンターでは工場リニューアルを行った2022年度に新たに労働安全方針、年間安全衛生計画・安全衛生業務宣言を制定しました。労働安全方針の浸透をグループ全体で図るべく近畿環境保全(株)や(有)ラゴ、キンカンビジネスアソシエイツ(株)も同様に新たに制定できるよう計画中です。



労働安全衛生活動

2022年度重点目標と実績

重点目標	施 策
重機や設備による労働災害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ① 安全な操作手順、清掃・メンテナンス手順の作成 ② リスクアセスメント、ヒヤリハットの実施 ③ 安全意識強化のために勉強会を開催
収集運搬中の事故の防止	<ul style="list-style-type: none"> ① リスクアセスメント、ヒヤリハットの実施 ② 勉強会の開催、事故事例の振り返りや再発防止策を検討



事業継続力強化計画認定の取得

2022年4月に近畿環境保全(株)と(株)湖南リサイクルセンターにおいて事業継続力強化計画認定を取得いたしました。事業継続力強化計画認定制度とは、今後、防災・減災に向けて取り組む企業に対し、その計画を認定する制度です。お客様へ安心・安全な廃棄物処理サービスを提供することはもちろん、万が一自然災害が発生した場合でも早期の復旧とサービス提供の実現に向けて尽力して参ります。



(株)湖南リサイクルセンター 火災訓練

主な災害の発生件数

当グループは廃棄物処理のための重機や施設を保有しており、社員の事故やケガ等のリスクも多く存在しています。労働災害が起こらない職場を目指していますが、万が一の事態に備えて労働災害保険制度を整えています。

2022年は命に関わるような重大な事故はありませんでしたが、38件の事故が発生し、そのうち6割は収集運搬中の事故でした。この結果を踏まえて次年度以降の事故件数大幅削減を目指し、各部署で事故の再発防止策や事前対策を強化することとなりました。

■事故件数:38件 ■労災件数:0件

詳細な数値は63ページへ

事前対策、事故再発防止策の具体例（一部）

- 車両点検を毎日実施し、書類への記入と写真提出を徹底
- 乗車前のアルコールチェックと免許証所持の確認を徹底
- 選別ラインの熱中症対策としてスポットクーラー10台導入
- 施設機械周りにバリカーケを設置
- 「止まれ」「横断歩道」等白線の補修工事

安全衛生に関する法令および事故への対応

2022年度は、法令違反の指摘はありませんでした。

従業員への労働安全衛生教育

当グループでは、役職や担当業務に合わせた様々な労働安全衛生教育を実施しています。また、各事業所の労働安全衛生担当者に求められる技能や知識を整理したスキルマップを整理し、グループ内で共有できるように計画しています。

防災対策

当グループは、自然災害の予測やその被害想定に関する情報を日常的に収集し、隨時、建屋や設備、車両等における安全の確認・対策の実施、訓練内容の見直し等を行っています。グループ各社・各事業所で独自に避難訓練や消火訓練等を計画的に実施するとともに、組織体制や連絡系統、マニュアルの見直し等の取り組みを推進しています。

火災対策

当グループにとって最大の危険は火災です。仕事や作業の危険性を把握して未然に防止し、危険性を削減する対策を行っています。

2022年度は(株)湖南リサイクルセンターでは処理棟ごとに火災訓練を実施しました。万が一火災が発生した際、迅速に対応するためにサーモグラフィカメラを設置しました。

加えて、火災の原因となる物(ライター、発煙灯等)が廃棄物に混入しないよう、お客様へ搬入禁止物の周知も行っています。



■2022年6月 グループ管理本部
火災訓練を実施



■2022年9月 草津資源循環センター 火災訓練を実施
■2022年9月 (株)湖南リサイクルセンター施設全体での火災訓練を実施
■2022年12月、2023年3月4月 (株)湖南リサイクルセンター 処理棟ごとに火災訓練を実施

水害対策

(株)湖南リサイクルセンターは河川に近く土地も低いため、水害のおそれのある地域です。そのため、水害対策を行い、大雨や洪水の際の危険削減に努めています。事務所内のフロアの嵩上げ、設備の防壁の設置等を実施しました。

また、災害時の行動マニュアルや工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐように努めています。

GRI対照表

KINKAN GROUPは、61期(2022年5月～2023年4月)までの期間について、GRIスタンダードを参照して報告する。

※グループ内各法人の決算期によって対象期間が前後する箇所あり。

【利用したGRI】GRI:基礎2021 【該当するGRIセクター別スタンダード】該当なし

GRIスタンダード	開示事項	掲載場所
一般開示事項		
2-1 組織の詳細	P3~4	
2-2 組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	P1,P3~4	
2-3 報告期間、報告頻度、連絡先	P1	
2-4 情報の修正・訂正記述	-	
2-5 外部保証	P10	
2-6 活動、バリューチェーン、他のビジネス関係	P7,P37~60	
2-7 従業員	P61~62	
2-8 従業員以外の労働者	P61~62	
2-9 ガバナンス構造と構成	P9	
2-10 最高ガバナンス機関における指名と選出	-	
2-11 最高ガバナンス機関の議長	-	
2-12 インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	-	
2-13 インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	-	
2-14 サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	-	
2-15 利益相反	-	
2-16 重大な懸念事項の伝達	-	
2-17 最高ガバナンス機関の集合的知見	-	
2-18 最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	-	
2-19 報酬方針	-	
2-20 報酬の決定プロセス	-	
2-21 年間報酬総額の比率	-	
2-22 持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	P2,P5~6,P9~10	
2-23 方針声明	P3~10	
2-24 方針声明の実践	P11~32	
2-25 マイナスのインパクトのは正プロセス	-	
2-26 助言を求める制度および懸念を提起する制度	-	
2-27 法規制遵守	P29~30	
2-28 会員資格を持つ団体	P10	
2-29 ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	P10	
2-30 労働協約	P9	
マテリアルな項目		
GRI3:マテリアルな項目 2021	3-1 マテリアルな項目の決定プロセス 3-2 マテリアルな項目のリスト	P7~8
エネルギー		
GRI3:マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P12
GRI 302: エネルギー2016	302-1 組織内のエネルギー消費量	P12
	302-2 組織外のエネルギー消費量	P12
	302-3 エネルギー原単位	P12
	302-4 エネルギー消費量の削減	P12
	302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	P12
水と廃水		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント 303-1 共有資源としての水との相互作用 303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	P12
GRI 303 : 水と排水2018	303-3 取水	P12
	303-4 排水	P12
	303-5 水消費	P12
	303-6 水の循環利用	P12
	303-7 水の漏洩	P12

GRIスタンダード	開示事項	掲載場所
生物多様性		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P17~20
	304-1 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	P17~20
GRI 304: 生物多様性 2016	304-2 活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	P17~20
	304-3 生息地の保護・復元	P17~20
	304-4 事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	-
大気への排出		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P12
	305-1 間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ1)	P12
	305-2 間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ2)	P12
	305-3 間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ3)	-
GRI 305: 大気への排出2016	305-4 温室効果ガス(GHG)排出原単位	P12
	305-5 温室効果ガス(GHG)排出量の削減	P12
	305-6 オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	-
	305-7 硝素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	-
廃棄物		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P25~26
	306-1 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	P25~26
	306-2 廃棄物関連の著しいインパクトの管理	P25~26
GRI 306: 廃棄物 2020	306-3 発生した廃棄物	P25~26
	306-4 処分されなかった廃棄物	-
	306-5 処分された廃棄物	P25~26
環境コンプライアンス		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P29~30
GRI 307: 環境コンプライアンス2016	307-1 環境法規制の違反	P29~30
雇用		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P61~62
	401-1 従業員の新規雇用と離職	P61~62
GRI 401: 雇用2016	401-2 正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	-
	401-3 育児休暇	P61~62
労働安全衛生		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P29,P31~32,P63
	403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	P31~32
	403-2 危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	P31~32
	403-3 労働衛生サービス	P31~32
	403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	P31~32
GRI 403: 労働安全衛生2018	403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	P29~32
	403-6 労働者の健康増進	P31~32
	403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	P31~32
	403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	P31~32
	403-9 労働関連の傷害	P31~32,P63
	403-10 労働関連の疾病・体調不良	P31~32
研修と教育		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P13~14,P61~62
	404-1 従業員一人あたりの年間平均研修時間	P61~62
GRI 404: 研修と教育2016	404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	P13~14
	404-3 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	-
GRI 405: ダイバーシティと機会均等2016	405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	P61~62
	405-2 基本給と報酬総額の男女比	-
GRI 406: 非差別2016	406-1 差別事例と実施した救済措置	P15~16
	412-1 人権レビューインパクト評価の対象とした事業所	P13~14
GRI 412: 人権アセスメント2016	412-2 人権方針や手順に関する従業員研修	-
	412-3 人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	-
地域コミュニティ		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P9~10,P21~24
GRI 413: 地域コミュニティ2016	413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	P9~10,P21~24
	413-2 地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト(顕在的、潜在的)を及ぼす事業所	-
社会経済面のコンプライアンス		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P63
GRI 419: 社会経済面のコンプライアンス2016	419-1 社会経済分野の法規制違反	-



外部専門家からのメッセージ

加山興業株式会社
経営企画室 室長

田畠 真一 氏

【プロフィール】2004年加山興業株式会社に入社、現在同社の経営企画室の室長を務め、自社及び社外に対して新規事業開発、サステナビリティ経営に資する企業価値創出や発展途上国を中心とした海外事業立ち上げ、ビジネスアドバイザリー業務を手がける。体験の機会の場研究機構の幹事を兼任している。
また、市民・事業活動において環境保全に関する豊富な経験や専門的知識を有し、その経験や知見に基づき、市民・NGO・事業者などの行う環境保全活動に対し助言などを行う人材である環境カウンセラーの資格を保有し、環境を中心とした普及啓発の活動をしている他、SDGsカードゲームファシリテーターの資格も有し、幅広いステークホルダーに対してSDGsの世界観を啓発するとともにSDGsを取り組むきっかけ作りの活動をしている。



キンカングループの中核をなす資源循環事業は我々の生活・経済活動にとって重要な役割を担っており、持続可能な社会の実現と持続可能な企業価値の向上の達成を目指していることが伺えます。具体的には、キンカングループではサステナビリティを経営の基盤とする姿勢を「グリーン経済宣言」の4箇条と6つの戦略的優先課題にて明確にしています。サステナビリティを推進する為の推進体制や、戦略的優先課題（マテリアリティ）の決定プロセス、ステークホルダーエンゲージメントなどがしっかりと明確になっており、真摯に社会や地域に向き合う姿勢を評価します。優先課題に掲げられた「資源循環」は、事業そのものが環境貢献へ直結した事業であり、ボトルtoボトルなどサーキュラーエコノミーに資する事業についても先進的環境経営モデルを実践しています。

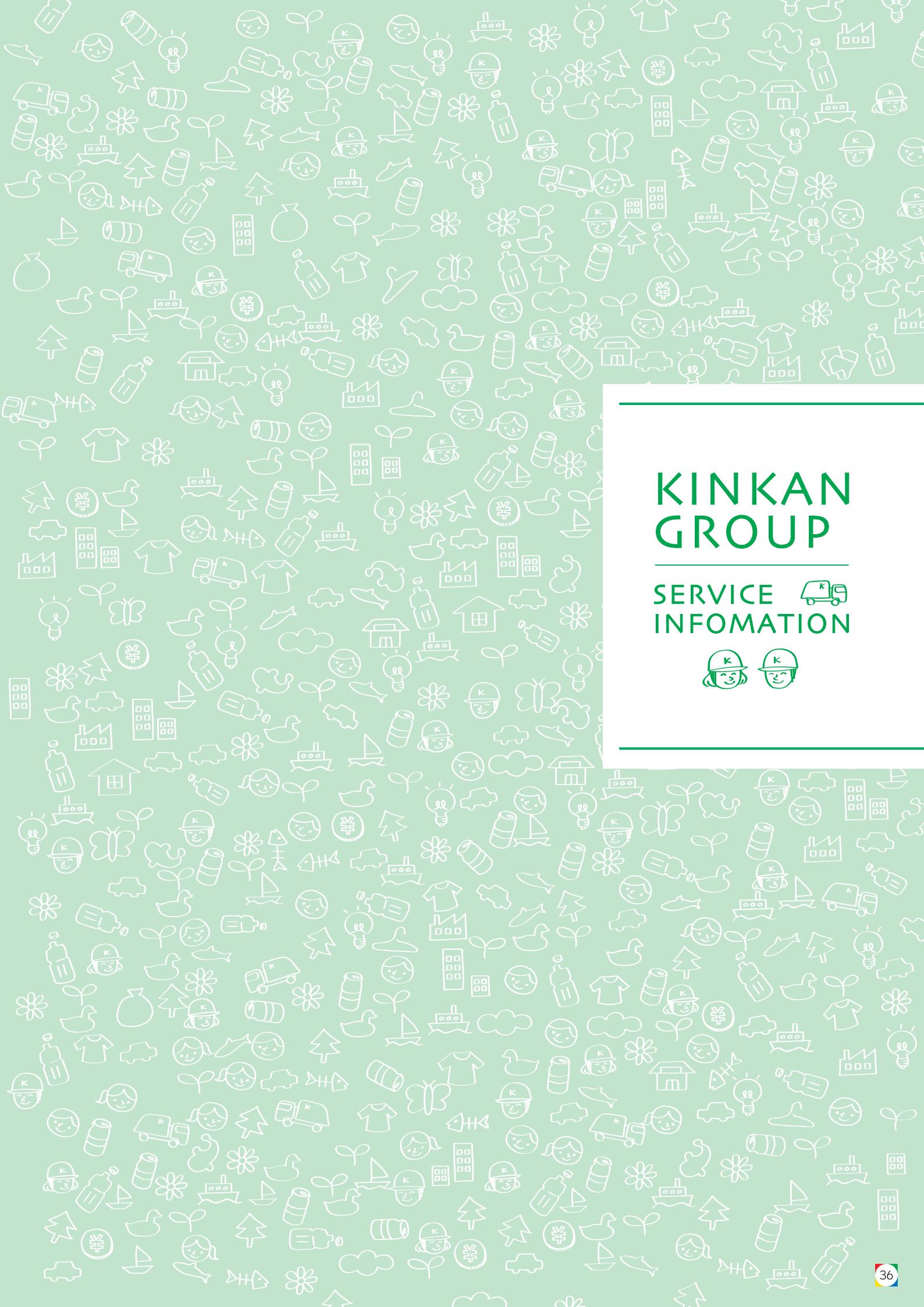
「脱炭素」においては、自社だけではない市民共同発電への参画、事業活動でのCO₂の可視化と削減、BDFプロジェクトの取組なども継続しつつ、2050年のゼロカーボンへ向かって、引き続き意欲的に様々な取組み、施策の実施にて環境経営モデルのリーダーシップを發揮して頂きたいと願います。

「ダイバーシティ」「自然との共生」「地域社会との共生」においては、誰もが活躍できる職場づくりや次世代につないでいく教育など、様々なステークホルダーとのエンゲージメントを高める取組みが実践されており、これからも継続してステークホルダーの満足を実現することを期待します。

今後サステナビリティを追求するにあたっては、自社の将来におけるありたい姿を考えながら、目標となる未来を定めて、目標に向かって今何をすべきか考えるいわゆるバックキャストで推進することが重要です。目標を策定し、その方向に進んでいることをステークホルダーへ示すことで社内の意識も変わり、同時にステークホルダーから様々なグッドアイデアが集まってくれることが期待されるでしょう。キンカングループらしさを持った目標を定めて目標達成に向かって推進することができれば、さらにステップアップした活動になるでしょう。

最後に現在取り組まれている活動はとても素晴らしい、さらなるサステナビリティの進化に向かって実直に実現していく姿を応援します。





KINKAN GROUP

SERVICE  INFOMATION



幅広い産廃許可の取得で適正処理を実現

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理業の許可を幅広く取得しており、2023年には低濃度PCBの収集運搬エリアの拡大も行いました。

現在、許可エリアの内、15府県において優良認定をいただいております。他県においても許可更新の際に優良認定を申請していきます。

優良産業廃棄物処理業者として厳しい基準に適合しながら、お客様により安心していただけるようなサービスを提供できるよう、日々の適正処理に取り組んでいます。また、許可エリア品目以外においてもネットワークを活用したご提案が可能ですのでお問い合わせください。

産廃情報ネット「さんぱいくん」

当社の最新の許可情報については
webで随時公開しています！



<https://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/>



優

優良産廃処理業者認定制度とは

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準より厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を都道府県・政令都市が審査し認定する制度です。

優良許可基準

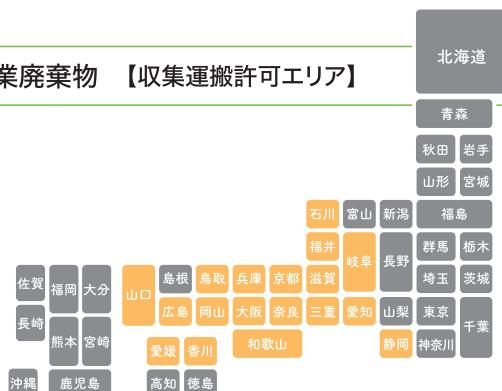
- ① 遵法性
- ② 事業の透明性
- ③ 環境配慮の取り組み
- ④ 電子マニフェスト
- ⑤ 財務体質の健全性

優良認定を受けている府県

- 石川県 ○福井県 ○岐阜県 ○静岡県 ○愛知県 ○三重県
- 滋賀県 ○京都府 ○大阪府 ○兵庫県 ○奈良県 ○岡山県
- 広島県 ○山口県 ○香川県

※詳しくは環境省のHPをご確認ください。

産業廃棄物【収集運搬許可エリア】



一般廃棄物収集運搬業【収集運搬許可エリア】

… 滋賀県 近畿環境保全(株)

… 京都市 (有)ラゴ



許可エリア【許可都道府県及び許可品目】

※2023年11月現在

近畿環境保全(株) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可一覧

	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	水銀含有ばいじん等	水銀使用製品産業廃棄物等	石綿含有産業廃棄物等	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸	特定有害廃アルカリ	特定有害廃石綿等	廃PCB等(低濃度PCBに限る)	PCB汚染物(低濃度PCBに限る)
優	石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	福井県	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	静岡県					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	滋賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	京都府	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	京都市	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	広島県	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優	香川県					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鳥取県																			○	○				
	愛媛県																			○	○				

○ … 産業廃棄物収集運搬業許可取得 ○ … 積み替え保管の許可もある品目

一般廢棄物 収集運搬業

近畿環境保全(株)	大津市、草津市、湖南市、彦根市、守山市、野洲市、栗東市、愛知郡愛莊町、湖北広域
(有)ラゴ	京都市

許可品目 【处分業許可一覧】

- 近畿環境保全(株) 〈草津資源循環センター 中間処理〉

破碎 廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

- 優 近畿環境保全(株) 〈石部営業所 中間処理〉

選別	汚泥(有機汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず
一般廃棄物処分業	食品不要物(野菜くず、パン類、麺類、弁当類、液体食品類)

- （株）湖南リサイクルセンター 〈中間処理〉

破碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
圧縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
一般廃棄物処分業	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、刈草、剪定木くず

収集運搬用車両

廃棄物に合わせた運搬方法を提案

廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと最適な車両を手配し、お客様のもとへ伺います。
お客様のニーズに幅広く対応できるよう車両のラインナップを充実させています。



種類	コンテナ車 2t・3t・4t・9t・10t	種類	ウィング車 4t・15t
特徴	<p>荷台がコンテナになっていて、そのまま降ろして設置できます。</p> <p>用途に合わせたサイズのコンテナを運搬いたします。重量のある汚泥などを運ぶ増トン車もあります。</p>	特徴	<p>リフトで廃棄物を積み込みます。</p> <p>段積みが可能なため、積み合わせに適しています。</p>



種類	平ボディ車 9t	種類	ユニック付平ボディ車 4t	種類	冷蔵冷凍車 3t
特徴	<p>小さいコンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。</p>	特徴	<p>ユニックで吊り上げて積み込むため、リフトがなくても積み込み可能です。</p>	特徴	<p>最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。</p>



種類	アルミバン 2t・3t	種類	軽トラック/ハイエース/軽バン	種類	ダンプ車 10t
特徴	<p>小口の産業廃棄物の回収等で使用しています。パワーゲート付の車両もあるので、かご台車の積み込みも可能です。</p>	特徴	<p>小口の産業廃棄物の回収等で使用しています。道路の狭い住宅地などでも小回りが利く回収ができます。</p>	特徴	<p>中間処理後の廃棄物を、遠方にある最終処分先に運ぶための車両です。一度に大量の廃棄物が運べます。</p>



種類

パッカー車 3t・4t・9t



特徴

重量が軽く、圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。
主に一般廃棄物の回収で使う車両で、計量器や分別回収用BOXが付いている車両もあります。



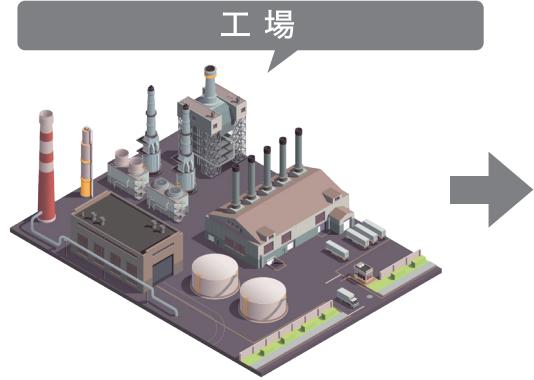
■回収容器一覧 コンテナを使用した定期回収、スポット回収などお問合せください！

	24m³ コンテナ 	8m³ コンテナ 	6m³ コンテナ
外寸(m) 長さ×幅×高さ	6.1×2.5×2.1	3.9×2.1×1.4	3.9×2.1×1.1
容量	24m ³	8m ³	6m ³
	4m³ コンテナ 	2m³ コンテナ 	1.5m³ コンテナ
外寸(m) 長さ×幅×高さ	2.8×1.7×1.16	1.6×1.5×1.2	1.9×1.0×1.0
容量	4m ³	2m ³	1.5m ³
	フレコン バッグ 	エコ回収 ボックス 	グリストラップ 容器
外寸(m) 長さ×幅×高さ	1.0×1.0×1.0	0.35×0.52×0.35	0.3×0.2×0.36
容量	1m ³	60ℓ	20ℓ

資源循環 適正処理

収集から最終処分までの
ソリューションを提案

KINKAN GROUP の環境ソリューション



廃棄物の収集

- 廃プラスチック類
- 木くず ● 繊維くず
- がれき類 ● 紙くず
- 金属くず ● ゴムくず
- ガラスくず・コンクリートくず
及び陶磁器くず



- 汚泥 ● 動植物性残渣
- 燃え殻
- 廃油 ● 廃アルカリ
- 廃酸 ● 鉱さい ● ばいじん



- 水銀使用製品産業廃棄物

- PCB

調査分析業務

- アスベスト

適正処理のコーディネート・
サポート業務

- 一般廃棄物



- 缶・ビン・PET・段ボール



- 機密書類



- グリストラップ ● 感染性廃棄物



- 不用品

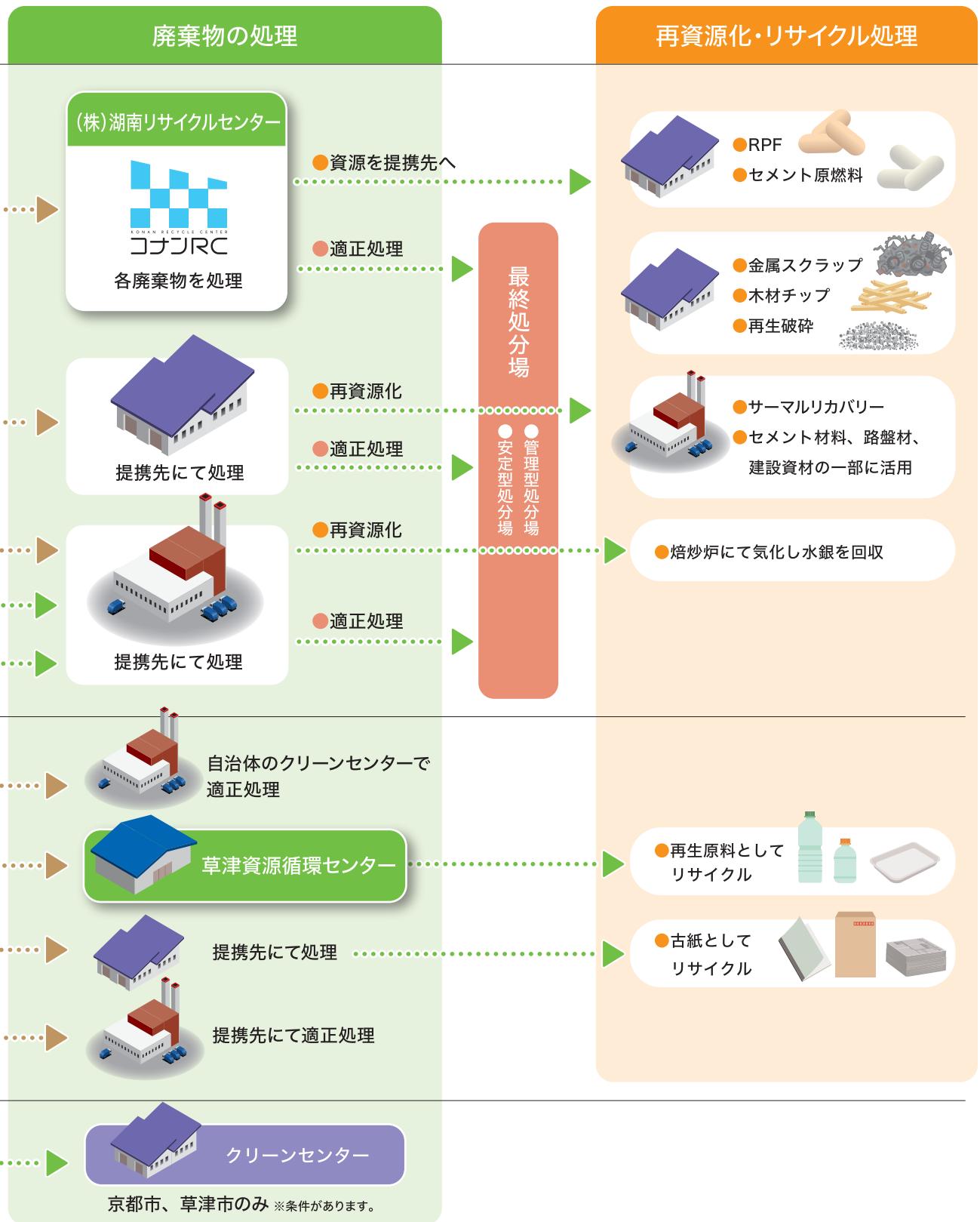


仕分け作業

- リフォーム
- ハウスクリーニング
- お庭のお手入れ
- 戸建解体



くらしスキッリ
5くビカ
by KINKAN GROUP



リフォーム

キッチンやお風呂の取り替えから、内装・外装工事まで

ハウスクリーニング

レンジフード・エアコン・浴槽・換気扇・キッチン・トイレなど

お庭のお手入れ

庭木剪定から芝刈り・除草・造園、外構工事まで

戸建解体

解体～廃材処理まで一貫施工！大幅な費用削減が可能

環境リスクマネジメント

積極的に取り組みます
環境問題にも

当グループでは、環境問題となっている様々な廃棄物において処理の提案を行っています。

アスベスト対策

アスベスト（石綿）の事前調査・分析業務・収集運搬から処分までをトータルコーディネートします。

処理に関してはゼロエミッションリサイクルの提案も可能です。



アスベスト事前調査

2023年10月以降に着工する建築物の解体・改修工事は、有資格者がアスベストの有無の事前調査をすることが義務付けられます。

工事前にアスベストの有無を調べて、安全に工事を進められるようにすることが目的です。

下記のような一定規模以上の工事は事前調査結果の報告が必要となります

- ① 解体部分の述べ床面積が80m²以上の建築物の解体工事
- ② 請負金額が税込100万円以上の建築物の改修工事
- ③ 請負金額が税込100万円以上の特定の工作物の解体または改修工事

PCB対策

PCBの含有調査・分析業務、機器の搬出、収集運搬から処分まで、PCBに関する全ての業務をワンストップで対応します。

また、補助金の申請や行政への届出など書類のサポート、新しい設備の導入も併せて提案します。



PCBとは

PCBとはPoly Chlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称で、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されてきました。後に有毒であることが判明し、1972年以降は製造や新たな使用が禁止されています。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法で、令和9年3月31日までに適正処理することが定められています。

JPTAへの加盟



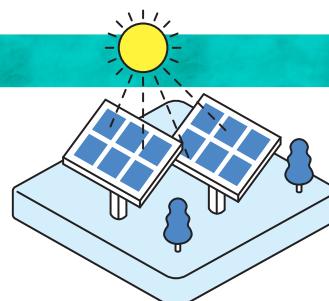
当グループは、「一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会」(JPTA)に加盟しています。

PCB使用製品の全数調査・分別調査・廃棄処理を進め、保管事業者の負担軽減を図り、1日も早いPCBの全量廃棄を目指し、安心して暮らせる環境の確保に貢献します。

PCBの調査だけではなく、低濃度PCB廃棄物の収集運搬、処理、分析業務もご相談ください！トータルでサポートさせていただきます。

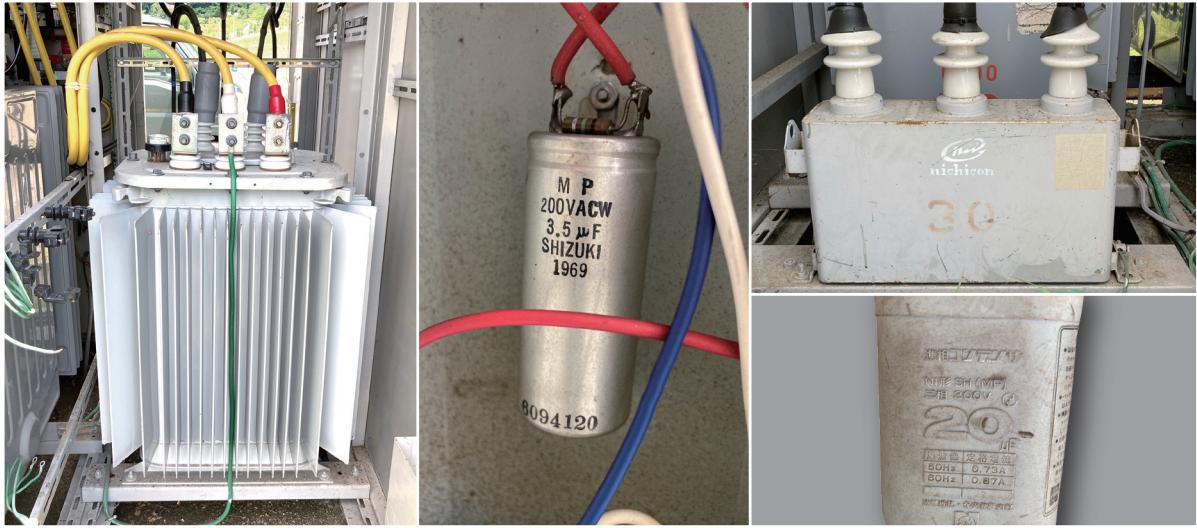
太陽光パネル

廃棄される太陽光パネルは2040年頃に大量に発生することが予想されます。当グループでは、処分業者と連携し、太陽光パネルのゼロエミッションリサイクルを行います。また、内部破損の無い太陽光パネルは買取し、再利用することも可能です。



PCBワンストップサービス

PCB含有機器の調査



敷地内に存在するPCB含有の疑いがある機器は、使用中の機器を含めて期限までに処分しなければなりません。

自社にPCB含有の機器は無いと報告されている企業でも、新たに発見される事例が多発しています。

当社ではPCB含有の疑いのある機器の掘り起こし調査を行っています。

主な
対象物

- 変圧器 ●電力用コンデンサ ●配電盤 ●制御盤 ●X線装置 ●コンプレッサー ●昇降機 等

低濃度PCBの収集運搬

使用中や保管中機器の分析調査、保管中機器の搬出作業から処理まで、ワンストップサポートしています。

また、現在も許可エリアの拡大に向けて計画・申請を行っております。許可の無いエリアに関しても、協力業者を通しての提案が可能です。



低濃度PCB収集運搬 作業フロー

STEP 1

現地確認

STEP 2

処理計画・見積提出

STEP 3

委託契約の締結

STEP 4

積込・運搬

STEP 5

無害化処理

許可エリア

- 滋賀県 ●京都府 ●大阪府 ●岐阜県 ●愛知県 ●三重県 ●鳥取県 ●愛媛県

低濃度PCB処分期限: 令和9年3月31日まで

廃棄物トータルサポート

様々な廃棄物に対応した
ワンストップサービス

産業廃棄物を
資源循環させたい!

サーキュラーエコノミーの推進

当グループはサーキュラーエコノミーに取り組んでいます。

廃棄物を資源として国内循環するうえで、どのような課題を抱えているのかお伺いします。

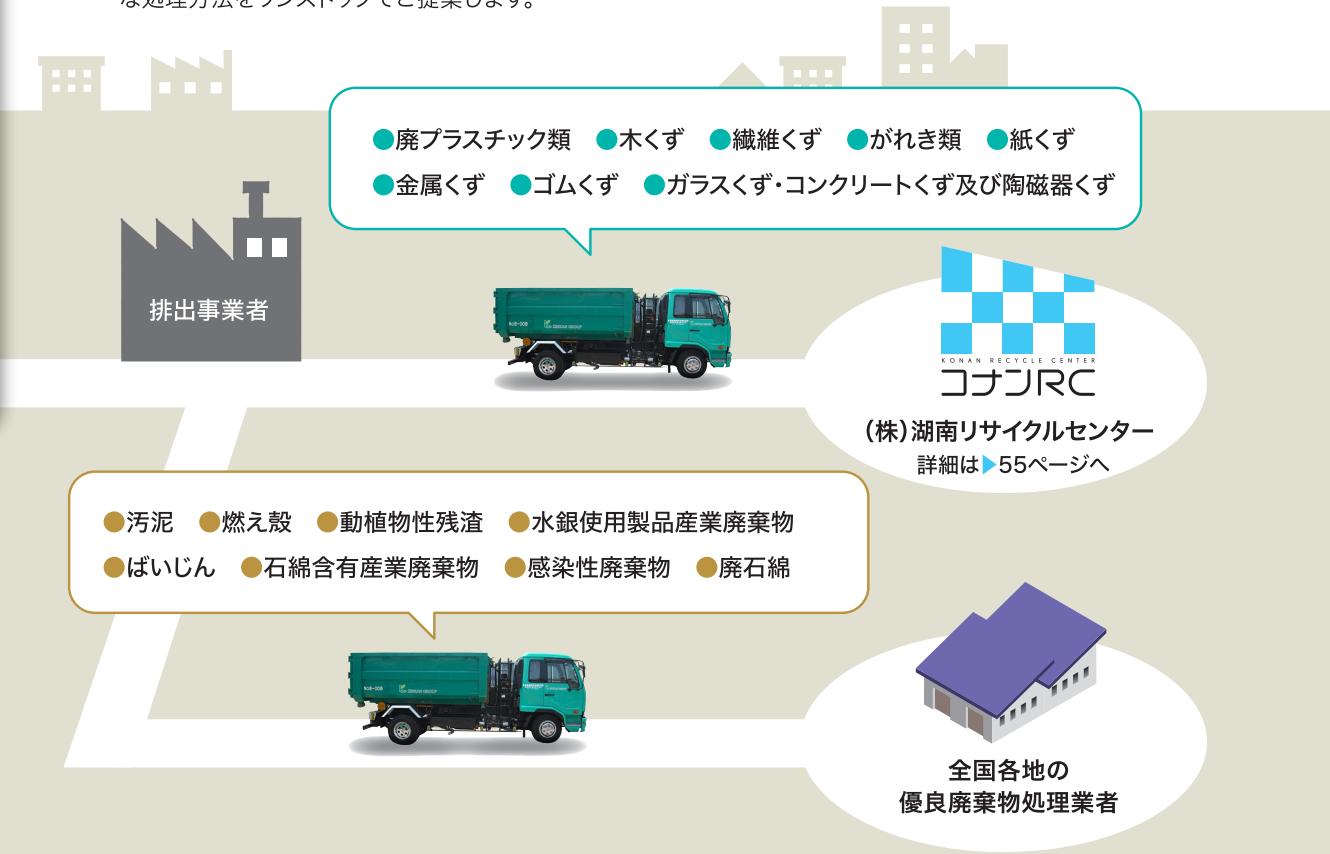
例えば、サーマルリカバリーされている複合物の解体・選別作業をご提案することで、作業後の資源のマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルを行い、トレーサビリティを確保したフローを実現します。



産業廃棄物を
処理したい!

産業廃棄物トータルサポート

当グループでは、お客様のニーズに合わせた様々な提案が可能です。当グループの中間処理施設である(株)湖南リサイクルセンターでの処分はもちろん、全国各地の優良な産業廃棄物処理業者と連携し、最適な処理方法をワンストップでご提案します。



エコスタッフ・ジャパン

廃棄物処理・リサイクル「安心・安全」の全国ネットワーク

当グループは、2011年より優良な廃棄物処理・リサイクル企業の全国ネットワークであるエコスタッフ・ジャパンに加盟し、現在では約60社が認定企業として活動しています。全国各地の様々な廃棄物もネットワークを使用し、安心・安全な処理の提案が可能です。

情報漏洩せず
処理したい!



機密書類リサイクルサービス

段ボールに詰めていただくだけで機密書類を処理できるサービスです。ファイルやバインダーに閉じたままでも回収可能ですので分別の手間がかかりません。搬入先の工場はプライバシーマークやISO/IEC27001を取得しており、セキュリティ体制は万全です。処理終了後は機密抹消証明書を発行します。

機密書類をファイルに綴じたまま
段ボールに入れるだけです!

積込

破碎・圧縮

溶解

再利用

未開封のまま処分場へ

安全に破碎・圧縮処理をして
溶解処理場へ

紙繊維

紙製品

残渣物

ボイラーフuel
製鉄原料

少量の産業廃棄物を
処理したい!



エコ回収BOX

詳細はコチラ▶
<https://youtu.be/pr9n52W8QTY>



産業廃棄物を入れたら
ダンボール1箱から回収OK!
エコ回収BOXのかいわく

エコ回収BOXは段ボール1箱から回収に伺う、産業廃棄物の小口回収サービスです。
購入いただいた「エコ回収BOX」に不用品を入れて連絡いただければ回収に伺います。



コンプライアンスもばっちり!

回収した不用品は、自社工場にて
適正に処分します。

家電・食器もOK!

家電製品や食器類など
処分しづらい不用品も回収します。

省スペース!

電話1本で1箱から回収に伺います。
不用品をおいておく場所がない方に便利です!

害虫がない
お店にしたい!



害虫駆除システム

詳細はコチラ▶
<https://www.kin-kan.co.jp/with/>



with



全自动の害虫駆除機を設置し、閉店後に週2回の薬剤噴霧を実施します。
高い駆除率を実現し、害虫を見ない環境作りをサポートします。

効き目が早い!

一晩で分かる即効性!

確かな安全性!

閉店後、自動駆除を開始!

置くだけ簡単!

医療品承認を得た薬剤を使用!

低価格!

料金は定期メンテナンス込み!

グリストラップを
キレイにしたい!



グリストラップ 清掃サービス

お客様のニーズにあわせてグリストラップの清掃を行い、
清掃後の汚泥も産業廃棄物として適正に処理します。



専用容器で
安心!

グリストラップ清掃後の汚泥を回収し、産業廃棄物として適正に処理します。回収には一度蓋をする
と開かなくなる専用容器を使用します。保管時や運搬時に中身が漏れる心配がありません。

サイズ 20ℓ(長さ30cm 幅20cm 高さ36cm)

感染性廃棄物を
処理したい!



感染性廃棄物 にも対応!

感染性廃棄物の取引にも対応します。各種専用
ケースを用意し1箱から回収します。

対象物

- 注射針
- 縫合針
- 輸血・血液バッグ
- メス刃
- 血液等含んだアルコール綿・
ガーゼ・包帯 など

ホームサポートサービス

一般家庭へのごみ収集
不用品回収サービス

KUSATSU

草津市

家庭ごみの収集特例制度

お客様の要望に合わせた
サービスを提供

当グループでは、草津市内から出される一般家庭ごみの収集代行業務を行っております。

草津市内の家庭から一時的に大量にごみが出る場合、対象者に限り、市の定期収集やクリーンセンターへの直接搬入以外に、当グループにて収集運搬を行うことが可能です。見積りは無料です。

お問い合わせいただきましたらすぐに現場にお伺いし、お客様の要望に合わせたサービスをご提案します。

制度の対象者

- (1)同居者のない者の遺品整理をする方
- (2)世帯員全員が次の①から③に掲げる者のみで構成される世帯
 - ①高齢者（満65歳以上の方）
 - ②障害者
 - ③要介護認定を受けている方

（40歳以上65歳未満の要介護者も対象です。）

※要介護状態区分が要支援の方は除きます。

上記のいずれかに該当される方が対象です。

KYOTO

京都市

(有)ラゴ

不用品回収サービス

対象エリア
京都市

京都市内の不用品処理は(有)ラゴにお任せください！運び出しから積み込み、処分まで一括してサポートします。

特徴
1

一括サポート！

引越しや家財整理で出る大型家具や家電、大量の荷物まで、迅速に対応します。運び出しから積み込み、処分まで一括してサポートします。

特徴
2

テレビ1台からでもOK！

年末年始の大掃除やお引越しの際に出た不要品など、テレビ1台からでも承りますのでお気軽にお声がけください。

特徴
3

買取にも対応！

費用を安く抑えたい場合、買取させていただく事も可能です。不用品回収のトータルコストを抑えることができます。

詳細はコチラ▶
<https://www.kin-kan.co.jp/lago/>



買取にも対応します！ 詳しくは51ページへ！

「らくピカ」はご自宅やオフィスでの快適な暮らしを、強力にサポートするプロ集団です。

【対象エリア】守山市、野洲市、湖南市、栗東市、草津市、大津市



お掃除や庭木の剪定、リフォーム、大型ゴミの回収をはじめ、お住まいのことなら何でもご相談ください。各サービスのプロが卓越した技術で皆様お一人おひとりのご要望にお応えします。お客様が気持ちよく安心してご相談いただけるよう、お客様目線に立ち、親切・迅速・丁寧に対応します。また、大小に関わらずどんなお仕事でも真心を込めてお仕事をさせていただき、みなさんのくらしのスッキリを応援します！！

リフォーム

キッチンやお風呂の取り替えから、内装・外装工事まで

ハウスクリーニング

レンジフード・エアコン・浴槽・換気扇、キッチン・トイレなど

お庭のお手入れ

庭木剪定から芝刈り、除草、造園、外構工事まで

戸建解体

解体～廃材処理まで一貫施工！大幅な費用削減が可能

電子マニフェストでマニフェスト運用を簡単に！

排出事業者は産業廃棄物管理票(マニフェスト)を使用し、委託した産業廃棄物が最終処分まで適正に処理されたかどうか確認することが義務付けられています。

当グループでは、手間をかけずにマニフェストを運用できるよう、電子マニフェストを導入しております。

団体登録加入

当社はJWNET団体加入の利用代表者です。マニフェスト登録件数が少ない排出事業者様にも電子マニフェストをご利用いただけます。さらに、電子マニフェストに関する事務業務は当社が代行します。そのため、手間をかけずにマニフェストを運用いただけます。

電子マニフェスト発行実績

2020年度 12,078件	>	2021年度 14,479件	>	2022年度 18,339件
--------------------------	---	--------------------------	---	--------------------------

手間がかからない

毎年行政へ提出することが義務付けられているマニフェスト交付等状況報告は、排出事業者の代理で情報処理センターが報告します。これにより、自ら報告する手間が省けます。

コンプライアンスの強化

法定の期限が近づいても終了報告がない場合には、排出事業者に通知されるため、確認漏れを防ぐことができます。

データの透明性

処理状況は、排出事業者・収集運搬業者・処分業者の3者がいつでも確認できます。本社・支店などがある場合、排出場所と離れていても確認することができます。情報処理センターが5年間保管し、セキュリティ対策も万全です。

当社で使用できる電子マニフェスト一例：**JWNET e-reverse ETマニフェスト bee-net**



電子契約で契約締結までをスピーディに！

廃棄物処理を業者に委託する際には、委託契約書を締結することが法律で定められています。また、契約書は契約の終了日から5年間保管しなければなりません。そこで契約締結までの手間を省き、クラウドで簡単に契約書管理ができる電子契約を導入しております。

保管・管理を簡単に

契約書はお客様専用ページのクラウドで保管できるので、場所をとりません。検索機能付きで契約書が探しやすく、許可証が更新されると通知メールが届き、管理も簡単です。

ペーパーレス

契約書を紙から電子データに変えることで、印刷用紙やインクなどの使用量を減らし、環境への負担軽減に繋げていきます。

セキュリティも万全

電子押印が完了すると、唯一無二の文書である証明としてタイムスタンプが付与され、改ざんを防止します。

時間の短縮

webサービスを使用するため、契約書を郵送するよりも早く契約が締結できます。

操作方法は動画でチェック！



①メール受信

契約書内容の承認依頼のメールが届きます



②アクセス

メールに記載されたURLにアクセスします



③契約締結

契約内容を確認し、問題がなければ「承認ボタン」をクリック



電子契約には「weee」を使用しております



メール配信サービス



当グループでは、ステークホルダーに向けて最新の環境に関する情報や、サービス案内を中心にメール配信を定期的に実施しています。

また、最終処分先一覧の更新時にも、メール配信サービスを通して皆様にお届けしております。

環境事業部 物流課

お客様の元へ
最適な車両を手配して



安全運転で廃棄物を処理先まで運搬します

お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処理先へと運搬します。

当グループは委託された廃棄物を確実に運搬するために、安全運転を徹底しています。また、廃棄物の種類に合わせた最適な車両を手配することで過積載や運転中の廃棄物飛散を防止し、適正な運搬に努めています。

なお、当グループが処理できない廃棄物も協力会社とのパートナーシップにより、適正な処理を提案します。

安全運転への取り組み

事前チェックの実施

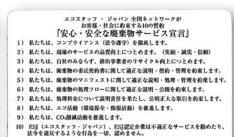
当グループでは、万が一の事故を防ぐために出発前の事前チェックにより、ドライバーの身だしなみや健康状態の確認、車両の点検を行います。

電子マニフェストの対応

GPSによる運行記録と廃棄物の画像データで、産業廃棄物の処理プロセスを管理するETマニフェストやイーリバースも対応しています。

ESJ優良ドライバー認定の取得

ESJ優良ドライバーは「プロ意識・法令・安全・マナー・顧客満足」について学び、安心・安全なサービスを提供するための検定です。



アルコールチェック・免許証の確認

出勤時と退勤時にアルコールチェッカーを使用して酒気帯びの確認をし、運転免許証と一緒に写真を撮り記録しています。



高度運行情報システムの利用

運行情報管理システム「みまもりくん」を導入しました。みまもりくん（デジタルタコグラフ）により、最高速度・急加速・急減速などの、運行情報を管理しています。今後、みまもりくんのデータを元にドライバーとミーティングを行い、安全運転意識の向上を図っていきます。

また、アイドリングの時間もみえることで、空気汚染、エネルギー対策は勿論、騒音対策にも配慮し、環境に優しい収集運搬を行います。

みまもりシステム運転診断書	
項目別評価 (1段階)	運転中のリスク
アイドリング	運転中のアイドリング時間とドライバーの運転運営指標との関連性を算出し、運転中のアイドリング時間が長いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中のアイドリング時間が長いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
一般運転の適度	運転中の走行速度と運転運営指標との関連性を算出し、運転中の走行速度が速いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中の走行速度が速いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
シフトアップの回数変動	シフトアップ回数と運転運営指標との関連性を算出し、運転中のシフトアップ回数が多いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中のシフトアップ回数が多いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
運転ギヤ段位の選択	運転中のギヤ段位選択と運転運営指標との関連性を算出し、運転中のギヤ段位選択が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中のギヤ段位選択が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
高速運行の実績	運転中の走行距離と運転運営指標との関連性を算出し、運転中の走行距離が長いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中の走行距離が長いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
アクセルペダルの踏み方	運転中のアクセルペダル踏み方と運転運営指標との関連性を算出し、運転中のアクセルペダル踏み方が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中のアクセルペダル踏み方が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
ブレーキペダルの踏み方	運転中のブレーキペダル踏み方と運転運営指標との関連性を算出し、運転中のブレーキペダル踏み方が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中のブレーキペダル踏み方が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
エンジブレーキの使い方	運転中のエンジブレーキの使い方と運転運営指標との関連性を算出し、運転中のエンジブレーキの使い方が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。運転中のエンジブレーキの使い方が悪いほど運転運営指標が悪くなることを示します。
総合評価 (日本全国)	リードタイム運転率の算出結果と評価をしてみます。
総評	総合評価
★★★★★	総合評価

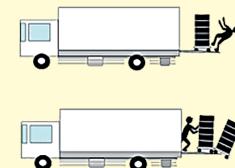


2023
Topics
1

テールゲートリフターの操作者に対する特別教育が義務化されます (2024年2月1日施行)

改正ポイント

- ① 昇降設備の設置及び保護帽の着用が必要な貨物自動車の範囲の拡大
- ② テールゲートリフターによる荷役作業についての特別教育の義務化
- ③ 運転者が運転位置から離れるときの措置の適応除外



当グループは2024年2月1日施行に向けて現在準備しております。

2023
Topics
2

脱炭素に向けての取り組み

当グループが脱炭素を進める上で一番大きな問題は、車両から排出される二酸化炭素です。それを削減するために、産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬の回収ルートを常に見直しています。

許可エリアごとに回収ルートを組んでいますが、各車両の走行距離を少なくするために営業所の拠点を増やす計画を立てています。また車両の小型化・省エネ化を併せて進めています。これは脱炭素の推進と、今後のドライバー採用にも有利な取り組みだと考えています。



社員コメント

近畿環境保全(株) 環境事業部 物流課 京都エリアマネージャー 山本 拓樹

当社では、各車両に運行情報管理システム「みまもりくん」を搭載しています。

みまもりくんの搭載で各ドライバーの速度超過・急減速等をグラフ化できることにより、ドライバーの運転技術向上につながっています。

また、無駄のないコース編成を話し合うことにより、各ドライバーに省燃費を意識づけています。ドライバー全体が一丸となって、安全で環境に優しい収集運搬を行っています。



リユース事業部

リユース可能な物の
買取業務を行っています



リユース事業部では現在、お客様からのご依頼に対して「全てのモノは必要とされている」という理念のもと、リユース可能な物の買取業務を行っています。そして買取した物の価値を見出し、次に必要とされている方へ繋いでいきます。

地域社会の環境インフラとして活動している当社にとって、資源循環は責務です。これまで資源循環のサイクルのうち、物を「捨てる」段階の有効活用を担ってきました。これからは物を「使う」段階にまで活動を広げて、資源循環を促進していきます。

また資源循環を促進するために(株)エコリングの協力のもと店舗での買取も行っています。



社員コメント

近畿環境保全(株) リユース事業部 高橋 一希

『今まで処分していた物をリユースして次の人に繋げて廃棄を減らす』という資源の循環を目的とした活動を日々行っている中で、自分自身の意識も最近変わってきました。自分の価値観だけで簡単に物を処分するのではなく、次に欲しい方がいるのであれば使っていただきたいという考え方は素敵だと思います。

欲しい物が簡単に手に入る非常に便利な時代ですが、物を大事にする気持ちはこれからも持っていきたいと思います。

【店舗情報】※FC加盟店社:(株)パラレル



エコリング草津店

住所:滋賀県草津市西大路町4-33
シャンムシャトレ 103
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-015-850



エコリング守山店

住所:滋賀県守山市勝部1-16-35
守山アーバンライフナント 101
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-850-015



エコリング河原町丸太町店

住所:京都市上京区猿田屋町463-4
フォース河原町 1F
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-805-850



エコリング京都山科店

住所:京都市山科区竹鼻西ノ口町45-4
THE GARNET SUITE RESIDENCE山科駅前
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-158-850



エコリング京都駅前店

住所:京都市下京区東洞院通七条上る
鈴屋町239-2 七条烏丸東ビル1階
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-225-850



エコリング寝屋川店

住所:大阪府寝屋川市池田三丁目8-18
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-850-133

(有)ラゴ

京都市の一般廃棄物・粗大ゴミの回収サービス



(有)ラゴは京都市の一般廃棄物・粗大ゴミの収集運搬を担う法人です。京都市の一般廃棄物収集運搬業許可を取得しています。環境配慮の取り組みや事業の透明性、違法性に注視し、京都市で活躍しております。

近畿環境保全(株)リユース事業部との連携にも力を入れ、回収から買取まで一括サポートにも対応していきます。今後も京都市の資源循環に貢献します。

京都市内の不用品回収・処理は(有)ラゴにお任せください！

ベッド・ソファなどの家具、掃除機・冷蔵庫・洗濯機・電子レンジなどの家電も回収することができます。京都市の許可業者である(有)ラゴが、丁寧に回収作業をさせていただきます。ご相談やお見積りは無料で承っております、運び出しから積み込み処分まで一括してサポート致します。

詳細はコチラ▼



不用品 粗大ゴミ
“ラゴ”におまかせください!
小型家電1点からOK!

<https://www.kin-kan.co.jp/lago/>

一括サポート！

引越しや家財整理で出る大型家具や家電、大量の荷物まで、迅速に対応します。運び出し～積み込み、処分まで一括してサポートします。

テレビ1台からでもOK!

年末年始の大掃除やお引越しの際に出た不要品など、テレビ1台からでも承りますのでお気軽にお声がけください。

買取にも対応！

費用を安く抑えたい場合、買取させていただく事も可能です。不用品回収のトータルコストを抑えることができます。

詳しくは51ページへ



草津資源循環センター



草津資源循環センターは、段ボールや古紙、缶やペットボトル等の圧縮機や、発泡スチロールの溶融機を備えています。それぞれに適した処理をしています。

2022年5月1日～2023年4月30日までのリサイクル量



段ボール



古紙



スチール缶・アルミ缶

1352t

358.1t

91.5t



ビン

108.7t



金属

34.5t



発泡スチロール

18.2t

ボトルtoボトルプロジェクト

ペットボトルの水平リサイクルに取り組んでいます

ボトルtoボトルは、使用済みのペットボトルを資源として活用し、100%ペットボトルに再生する循環型リサイクルシステムです。

草津資源循環センターで処理したペットボトルを「ボトルtoボトル」を行っているリサイクル施設へ搬出しています。ペットボトルリサイクルを推進することで、持続可能な社会の実現を目指します。



バイオガス計画進行中



2016年秋よりバイオガス発電プロジェクトを立ち上げ、現在も進行中です。

バイオガス発電とは食品廃棄物にメタン菌を混ぜて発酵させ、その過程で発生したガスを利用して発電する方法です。このプロジェクトで新設するバイオガス発電施設では、1日あたり60トンの食品廃棄物の処理が可能です。さらに、リサイクルによって発電可能な電気は年間約450万kWhにのぼり、一般家庭約750世帯分の電気に相当します。

適正な廃棄物処理とリサイクル需要の両方の観点から、持続可能な食品リサイクル事業を目指します。

施設名：滋賀第一バイオガス発電所
所在地：滋賀県湖南市石部口2丁目277-1
地目：工業地域
面積：約10,000平米
運営主体：合同会社湖南バイオガス発電（案）
処理対象：産業廃棄物（動植物性残渣・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃油）
処理量：日量60トン
発電機出力：660kW（年間450万kWh、一般家庭約750世帯分）

SPC方式でのプラント運営を計画中。許認可取得は近畿環境保全株式会社で手続き中であり、2019年11月の都市計画審議会にて審議が完了いたしました。（2021年8月現在）

(株)湖南リサイクルセンター

種類別の専用棟で独自の
処理システムを構築



地域に愛される中間処理施設であり続ける為に



湖南リサイクルセンターは昨年、大型破碎機と機械式選別機を導入しました。稼働から一年以上が経ち、処理能力が大きく向上し、埋め立てに頼らない再資源化に向けた処理フローを実現しました。今年10月で埋め立てを終了した県内の最終処分場の受け皿として多くの廃棄物の受け入れが可能です。

琵琶湖森林づくりパートナー協定の締結

2023年6月2日に、三雲生産森林組合と調印式を実施し、琵琶湖森林づくりパートナー協定を締結しました。

同じ湖南市で活動する組織としてお互いに発展していくべきと考えています。



地域雇用の促進

スタッフコメント

(株)湖南リサイクルセンター
関口 利栄子

大阪から滋賀へ引越してきてゴミやりサイクルに少しづつ興味を持ち始め、湖南市に引越してさらに分別について知りたい気持ちが強くなりました。そんな時に(株)湖南リサイクルセンターの求人を見つけ、「ここしかない!」と呼ばれた気がしてすぐに応募して入社しました。

子どもが体調を崩して急にお休みをいただくこともあるのですが、快く受けてくださり、あの時の直感を信じてよかったです!と思うくらい充実していて楽しく働けています。



バリオセパレーターの選別ラインに立つパート社員



適正処理への備え

中間処理後の廃棄物の二次処理先として東西広域かつ複数の業者と取引きしており、最終処分先についても新規開拓を続けております。このことは、気候関連災害や自然災害に対する備えとなり、当施設を持続的に運営するために事業継続力強化計画認定を取得し、BCP協定も締結しています。

事業継続力強化計画認定

防災・減災に向けて取り組む企業に対し、その計画を認定する制度です。日頃から安心・安全な廃棄物処理サービスを提供することはもちろん、万が一自然災害が発生した場合でも早期の復旧とサービス提供の実現に向けて尽力します。



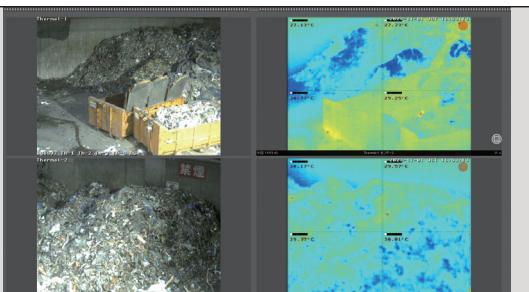
BCP協定

「自然災害や不可抗力」により事業活動が継続困難な状況に陥った際に全国の認定企業が相互に支援し合う協定です。全国の優良な廃棄物処理業者を繋ぐエコストaffiliee・ジャパンの認定企業59社によるBCP協定を環境省立会いのもと締結しています。



安心安全な施設

施設を持続的に運営するためには安全面も不可欠です。監視カメラやサーモグラフィカメラの導入によって火災や異常を早期発見し、3ヶ月に1度実施している消防避難訓練によって素早い対応を可能にしています。安心安全な施設を維持し、事故0 火災0を目指します。



A棟

混合廃棄物の破碎処理施設

混合廃棄物の破碎処理及び選別を行っています。
破碎前に人の手で選別を行うことで、
危険物(不適物)の混入を防ぎます。



1 移動式破碎機 タイタン

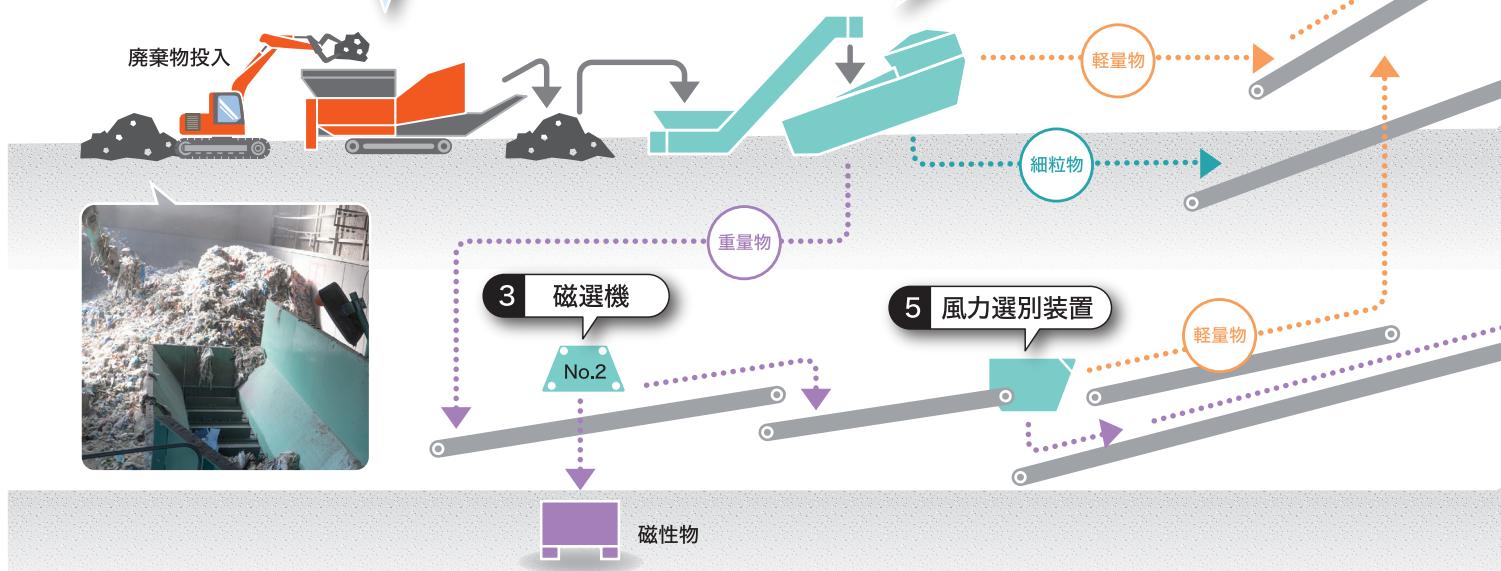


大型の破碎機の導入により、これまで破碎困難、処理困難物であった、大判シート状や大きなロール状の廃棄物も破碎処理が可能となりました。破碎スピードも向上し、処理能力は以前の2.8倍を誇ります。

2 機械式選別設備 バリオセパレーター



混合廃棄物を比重差によって、重量物・軽量物・細粒物に分別します。その後、レーン上で磁選機や人の手を用いてより精度の高い選別を行います。



C棟

木くず専用の破碎設備

種類ごとに搬入された木くずを破碎して、チップ化します。
木材チップは製紙原料や建材原料などに利用されています。
原料として利用できないものは、バイオマスボイラーの
燃料として活用しています。



破碎処理



木材チップとして売却
(製紙原料用・燃料用)

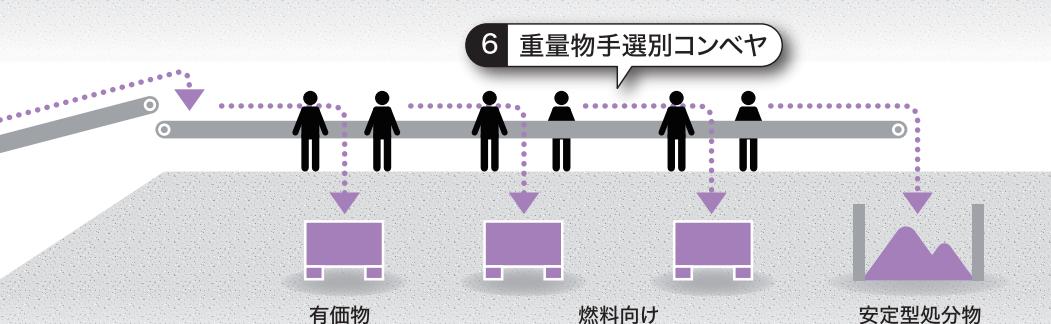
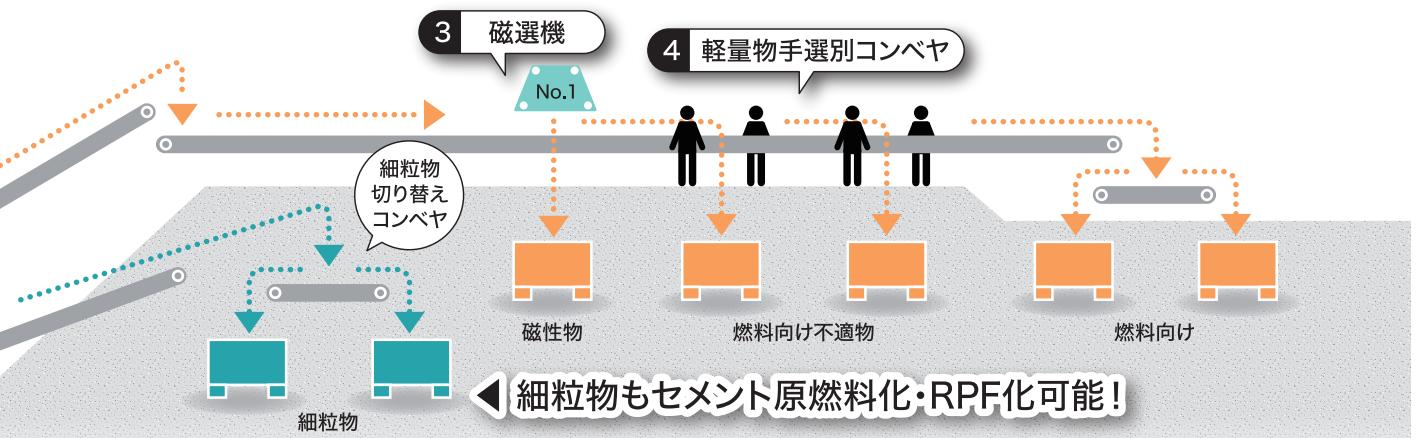
D棟

廃プラスチック類の破碎及び圧縮処理施設

固形燃料等にリサイクルされる
軟質系の廃プラスチック類を破碎処理後、
圧縮処理を行っています。



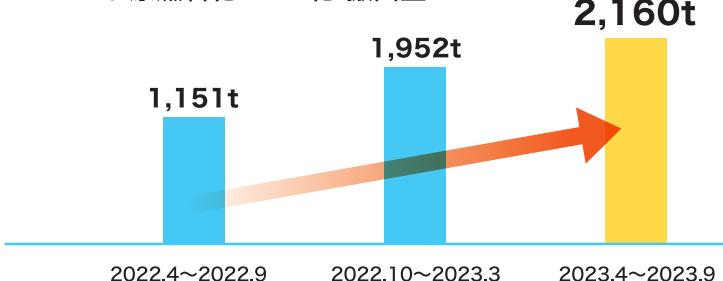
セメント原燃料へ
リサイクル



再資源化率の向上

石炭の価格高騰の中、その代替燃料となる
プラスチックの需要はますます高まっています。

■セメント原燃料化・RPF化 搬出量



前年対比
190%

キンカンビジネスアソシエイツ(株)

新しい「働き方」の
「追求」と「実践」



ダイバーシティ & インクルージョンを実践する

キンカンビジネスアソシエイツ(株)は、当グループにおけるダイバーシティを実践するために、2018年11月に近畿環境保全(株)の100%出資の子会社として設立されました。当グループの目標である「循環創造企業」を念頭にヒトとモノを循環させることで、持続可能な未来があると考えています。

また、「すべてのモノは必要とされている。すべてのヒトが必要とされている。」というKINKAN GROUP グリーン経済宣言を受けて、ダイバーシティを実践していきます。多様な属性※を有する方々がどのような働き方でも「経済的自立」と「合理的な配慮」を兼ね備えた新しい「働き方」の実現を追求し実践することで、誰もが活躍できる職場環境を提供していきます。

※多様な属性とは…障害者(国の定義による)、出所者(出院者含む)、高齢者、一人親(シングルマザー、ファーザー)、外国籍、セクシュアルマイノリティ等のすべての属性を指します。



エコパートナー事業部

障害者雇用を積極的に行い、当グループで活躍できる人財を育成しています。現在、障害者雇用枠で働く社員が6名在籍しており、当グループの施設の一つである「草津資源循環センター」や「(株)湖南リサイクルセンター」にて業務を行っています。

企業在籍型職場適応援助者や障害者職業生活相談員を配置しており、今後は障害者雇用だけでなく、当グループのダイバーシティを実践していきます。



FCサポート事業部

関連会社の飲食事業などと連携し、事業のサポートをしながら幅広い世代や女性雇用に貢献しています。今後は飲食系フランチャイズの多店舗展開や別事業のサポートに向けて更なる雇用の拡大を視野に入れ、性別や国籍、ハンディキャップの有無に関係なく働ける場を提供していきたいと考えています。

エコパートナー事業部

「相談支援事業所ぽアソ」の運営

「ぽアソ」という名前には、「Possibility(可能性)は無限」の「Associates(仲間たち)」という意味が込められています。

KINKAN GROUP グリーン経済宣言の「すべてのヒトが必要とされている」という点において、相談支援事業所ぽアソでは社会で生きづらさを抱えている方の多様なニーズや課題を解決していきながら、社会的自立を目指せるよう支援してまいります。



相談支援事業所
ぽアソ

エコパートナー事業部

施設外就労(訓練)の受入れ

現在、グループ会社の(株)湖南リサイクルセンター内で(学)関西福祉学園働き教育センター様に施設外就労(訓練)の場を提供しています。

利用者様が就職するためのひとつのプログラムの中で、支援企業としてグループ全体で支えていきます。



スタッフコメント 担当支援員 親泊 真奈美様



キンカングループでの施設外就労(訓練)に来て、約1年弱になります。当初は利用者の中でも廃棄物の選別の方がまったくわからない方がたくさんいましたが、現場訓練で廃棄物を選別し、実際に触れていく中で自分で判断して選別することができており、資源物についての理解を深めることにも繋がりました。利用者自身が選別している中で自発的に目標を決めるなど意欲的に作業に取り組み、現場社員の方ともコミュニケーションを取っています。

今後は、キンカングループの社員さんとの関わりの中で就職先の一つとして考えると同時に、別の企業への就職を考えるきっかけとなることを期待しています。

Topic
1

障害者雇用優良中小事業主（もにす）認定を取得

滋賀県7例目、湖南4市で初(草津市、栗東市、守山市、野洲市)

2023年5月25日に滋賀県で7例目となる障害者雇用優良中小事業主(もにす)に滋賀労働局より認定されました。草津市では初めての認定となり、今後も障害者雇用枠で働く方が活躍できるような環境を提供し続けると同時に、当グループ内でも当たり前に活躍していくような環境を構築していきます。



Topic
2

職親プロジェクトへの参入 ▶ 精神保健福祉士が在籍

当社は、職親プロジェクトの支援企業として協力雇用主会に登録させていただきました。職親プロジェクトとは、出所者や出院者の就職・職業生活をサポートすることであり、KINKAN GROUP グリーン経済宣言である「すべての人が必要とされている」というダイバーシティを実践していくことにおいて、多様な属性の方々の力添えが持続可能な発展に必要不可欠だと考えています。

また、多様な考え方や悩みを抱えている中で、一人ひとりに寄り添いながらサポートをしていくために精神保健福祉士を1名配置しております。

障害者雇用人数とその内訳
(過去3年の継続率)

- 障害者雇用人数 → 計6名(2023年4月時点)
- 内訳 → 身体:1名 知的:2名 精神:3名(うち発達障害2名)
- 過去3年間に雇用した障害者の就職1年後定着率:100%

キンカングループ パフォーマンスデータ

近畿環境保全(株)

決算情報	単位	46期 2021年4月末	47期 2022年4月末	48期 2023年4月末
売上高	千円	844,944	936,087	999,338
営業利益	千円	-12,040	-5,802	9,028
経常利益	千円	-9,402	28,297	9,174
当期純利益	千円	-11,899	24,400	3,941
寄付による社会貢献活動	千円	250	400	0

(株)湖南リサイクルセンター

決算情報	単位	20期 2021年2月末	21期 2022年2月末	22期 2023年2月末
売上高	千円	346,995	392,742	424,209
営業利益	千円	27,209	34,913	5,577
経常利益	千円	26,949	33,632	1,826
当期純利益	千円	21,032	26,429	2,453
寄付による社会貢献活動	千円	0	0	0

社員データ	単位	46期 2021年4月末	47期 2022年4月末	48期 2023年4月末
全社員数	全体 人	49	59	58
	男性 人	34	38	37
	女性 人	11	21	21
終身雇用の社員	全体 人	-	-	47
※48期より計上開始	男性 人	-	-	31
	女性 人	-	-	16
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員)	全体 人	-	-	4
※48期より計上開始	男性 人	-	-	4
	女性 人	-	-	0
パートタイムの社員 ※48期より計上開始	全体 人	-	-	7
	男性 人	-	-	2
	女性 人	-	-	5
再雇用人数	全体 人	2	2	2
	男性 人	2	2	2
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	13	13	11
	男性 人	13	13	11
	女性 人	0	0	0
平均年齢	全体 歳	40.3	41.3	40.94
	男性 歳	42.6	43.7	45.37
	女性 歳	35.2	37.6	33.5
勤続年数	全体 年	8.3	7	6.8
	男性 年	8.3	8.7	8.56
	女性 年	7.3	3.9	3.9
採用人数	全体 人	10	10	8
	男性 人	3	4	3
	女性 人	7	6	5
離職人数	全体 人	5	11	12
	男性 人	3	8	5
	女性 人	2	3	7
育児制度利用者数	全体 人	0	1	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	1	0
育児休業を取得する権利を有していた従業員の総数※当社規定をもとに雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	42	52	47
	男性 人	31	36	31
	女性 人	9	16	16
育児休業を取得した従業員の総数	全体 人	0	1	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	1	0
報告期間中に育児休業から復職した従業員の総数	全体 人	0	1	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	1	0
育児休業から復職した後、12ヶ月経過時点での在籍している従業員の総数	全体 人	0	1	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	1	0
育児休業後の従業員の復職率および定着率	全体 %	-	100	100
	男性 %	-	-	-
	女性 %	-	100	100
女性役職者比率	%	0	0	0
労働者一月当たりの平均所定内労働時間	時間/月	122	176	
労働者一月当たりの平均所定外労働時間※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	2.7	4.5	6.2
労働関連の傷害による死者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合(死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	-	-	-
従業員一人当たりの研修受講費用	円	¥9,000.00	¥71,590.00	¥450,195.00

社員データ	単位	20期 2021年2月末	21期 2022年2月末	22期 2023年2月末
全社員数	全体 人	11	13	17
	男性 人	8	9	10
	女性 人	3	4	7
終身雇用の社員 ※22期より計上開始	全体 人	-	-	4
	男性 人	-	-	4
	女性 人	-	-	0
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員) ※22期より計上開始	全体 人	-	-	4
	男性 人	-	-	4
	女性 人	-	-	0
パートタイムの社員 ※22期より計上開始	全体 人	-	-	9
	男性 人	-	-	2
	女性 人	-	-	7
再雇用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	1	2	3
	男性 人	1	2	3
	女性 人	0	0	0
平均年齢	全体 歳	47	42.3	45.73
	男性 歳	58.5	58.5	50.09
	女性 歳	47.6	44.25	39.75
勤続年数	全体 年	8.8	7.5	5.31
	男性 年	9.8	9.8	7.81
	女性 年	4.6	3.5	1.875
採用人数	全体 人	0	0	20
	男性 人	0	0	7
	女性 人	0	0	13
離職人数	全体 人	0	0	6
	男性 人	0	0	2
	女性 人	0	0	4
育児制度利用者数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得する権利を有していた従業員の総数※当社規定をもとに雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	7	8	8
	男性 人	7	8	8
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
報告期間中に育児休業から復職した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業から復職した後、12ヶ月経過時点での在籍している従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業後の従業員の復職率および定着率	全体 %	-	-	-
	男性 %	-	-	-
	女性 %	-	-	-
女性役職者比率	%	0	0	0
労働者一月当たりの平均所定内労働時間	時間/月	112.4	139.4	134.48
労働者一月当たりの平均所定外労働時間※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	0.75	0.4	0.78
労働関連の傷害による死者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合(死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	2	-	3
従業員一人当たりの研修受講費用	円	7000	-	15000

(有)ラゴ

決算情報	単位	16期 2020年8月末	17期 2021年8月末	18期 2022年8月末
売上高	千円	53,173	52,339	52,159
営業利益	千円	3,191	3,192	5,166
経常利益	千円	3,802	3,758	5,445
当期純利益	千円	2,790	2,827	4,083
寄付による社会貢献活動	千円	0	0	0

社員データ	単位	16期 2020年8月末	17期 2021年8月末	18期 2022年8月末
全社員数	全体 人	2	2	2
	男性 人	2	2	2
	女性 人	0	0	0
終身雇用の社員 ※19期より計上開始	全体 人	-	-	-
	男性 人	-	-	-
	女性 人	-	-	-
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員) ※19期より計上開始	全体 人	-	-	-
	男性 人	-	-	-
	女性 人	-	-	-
パートタイムの社員 ※19期より計上開始	全体 人	-	-	-
	男性 人	-	-	-
	女性 人	-	-	-
再雇用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	0	1	1
	男性 人	0	1	1
	女性 人	0	0	0
平均年齢	全体 歳	45.5	45.5	45.5
	男性 歳	45.5	45.5	45.5
	女性 歳	-	-	-
勤続年数	全体 年	8.5	8.5	8.5
	男性 年	8.5	8.5	8.5
	女性 年	-	-	-
採用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
離職人数	全体 人	0	2	0
	男性 人	0	2	0
	女性 人	0	0	0
育児制度利用者数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得する権利を有していた従業員の総数 ※当社規定をもとに雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	2	2	2
	男性 人	2	2	2
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
報告期間中に育児休業から復職した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業から復職した後、12ヶ月経過時点まで在籍している従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業後の従業員の復職率および定着率	全体 %	-	-	-
	男性 %	-	-	-
	女性 %	-	-	-
女性役職者比率	%	0	0	0
労働者一月当たりの平均所定内労働時間	時間/月	139	137	206
労働者一月当たりの平均所定外労働時間 ※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	10.1	2.4	6.4
労働関連の傷害による死亡者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合 (死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	-	-	-
従業員一人当たりの研修受講費用	円	-	-	-

キンカンビジネスアソシエイツ(株)

決算情報	単位	2期 2020年5月末	3期 2021年5月末	4期 2022年5月末
売上高	千円	34,997	36,276	96,800
営業利益	千円	-1,518	-2,002	1,292
経常利益	千円	-1,190	-780	1,559
当期純利益	千円	-1,262	-852	1,487
寄付による社会貢献活動	千円	0	0	174

社員データ	単位	2期 2020年5月末	3期 2021年5月末	4期 2022年5月末
全社員数	全体 人	29	24	25
	男性 人	16	13	12
	女性 人	13	11	13
終身雇用の社員 ※22期より計上開始	全体 人	-	-	-
	男性 人	-	-	-
	女性 人	-	-	-
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員) ※22期より計上開始	全体 人	-	-	-
	男性 人	-	-	-
	女性 人	-	-	-
パートタイムの社員 ※22期より計上開始	全体 人	-	-	-
	男性 人	-	-	-
	女性 人	-	-	-
再雇用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	1	2	2
	男性 人	1	2	2
	女性 人	0	0	0
平均年齢	全体 歳	31.8	31.8	31.36
	男性 歳	33.4	33.4	32.8
	女性 歳	29.7	30.4	28.7
勤続年数	全体 年	3.2	3.3	3.1
	男性 年	3.7	3.4	3.8
	女性 年	2.7	2.7	2.5
採用人数	全体 人	7	4	4
	男性 人	4	0	2
	女性 人	3	4	2
離職人数	全体 人	2	5	4
	男性 人	2	0	2
	女性 人	0	5	2
育児制度利用者数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得する権利を有していた従業員の総数 ※当社規定をもとに雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	4	3	5
	男性 人	3	3	2
	女性 人	1	0	3
育児休業を取得した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
報告期間中に育児休業から復職した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業から復職した後、12ヶ月経過時点まで在籍している従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業後の従業員の復職率および定着率	全体 %	-	-	-
	男性 %	-	-	-
	女性 %	-	-	-
女性役職者比率	%	0	0	0
労働者一月当たりの平均所定内労働時間	時間/月	38.9	48.4	47.6
労働者一月当たりの平均所定外労働時間 ※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	0.8	0.2	0.1
労働関連の傷害による死亡者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合 (死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	-	-	-
従業員一人当たりの研修受講費用	円	-	-	-

キンカングループ 事故発生件数一覧

対象組織	事故件数	対 策
KINKANGROUP	38	
近畿環境保全(株)	28	
管理部	0	●消防訓練に2名参加。
営業部	5	●営業車の車両点検を毎日実施。スプレッドシートへの記入と写真提出を徹底。
環境事業部物流課	23	●アルコールチェックと免許証確認を毎日実施。 ●事故後ドライバーミーティングを行い、内容の共有と原因の追及と再発防止対策の検討。
環境事業部施設課	0	
リユース事業部	0	
(株)湖南リサイクルセンター	7	●事故、火災後にミーティングを行い、内容の共有と再発防止策を検討して共有。 ●各処理棟で火災消火避難訓練の実施。12月、3月、4月実施。 ●6月熱中症対策でスポットクーラー10台購入。 ●10月に火災発生確認の為のサーモカメラの設置。 ●10月に工場内監視カメラの設置。 ●施設機械周りにバリカーの設置。 ●施設内の「止まれ」や「横断歩道」の白線の工事。 ●C棟前アスファルトの張り替え。
(有)ラゴ	3	●アルコールチェックと免許証確認を毎日実施。 ●事故後ドライバーミーティングを行い、内容の共有と原因の追及と再発防止対策の検討。
キンカンビジネスアソシエイツ(株)	0	●業務提携先での安全対策に従う。

【問合せ先一覧】



近畿環境保全株式会社

本 社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
グループ 管理本部	〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B TEL 077-564-1502 FAX 077-567-3767
営業本部	〒525-0032 滋賀県草津市大路2丁目13番27号 迂第3ビル5F TEL 077-561-5377 FAX 077-561-5388
石部営業所	〒520-3114 滋賀県湖南市石部口2丁目277番1号
京都営業所	〒601-8114 京都府京都市南区上鳥羽南鉢立町14番地2
リユース 事業部	〒601-8104 京都府京都市南区上鳥羽角田町55番地3

グループ総合お問い合わせ先

Email info@kin-kan.co.jp
TEL 0120-63-5390

公式HP

近畿環境保全株式会社
<https://www.kin-kan.co.jp/>



株式会社湖南リサイクルセンター
<https://www.konan-rc.co.jp/>



SNSはこちら！

キンカングループの情報を配信中！
ぜひチェックしてください！！



facebook

@kinkangroup



instagram

@kinkangroup



X (旧Twitter)

@kinkan0611



YouTube

@kinkangroup4411



LINE

@116qrgya



株式会社湖南リサイクルセンター

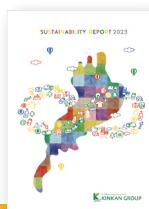
本 社	〒520-3114 滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号 TEL 0748-77-8828 FAX 0748-77-8820
-----	---

有限会社ラゴ

本 社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
京都営業所	〒601-8114 京都府京都市南区上鳥羽南鉢立町14番地2

キンカンビジネスアソシエイツ株式会社

本 社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
-----	--------------------------



KINKAN GROUP サステナビリティレポート2023への
ご意見をぜひお寄せください。 アンケートフォームはこちら▶





SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



KINKAN GROUPは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

KINKAN GROUP 公式ホームページ

www.kin-kan.co.jp

本誌に載っていないサービス案内や採用情報などを掲載!
最新ニュースも随時更新しているのでぜひチェックしてください。



お客様アンケート

KINKANについてのご意見をお寄せください。

